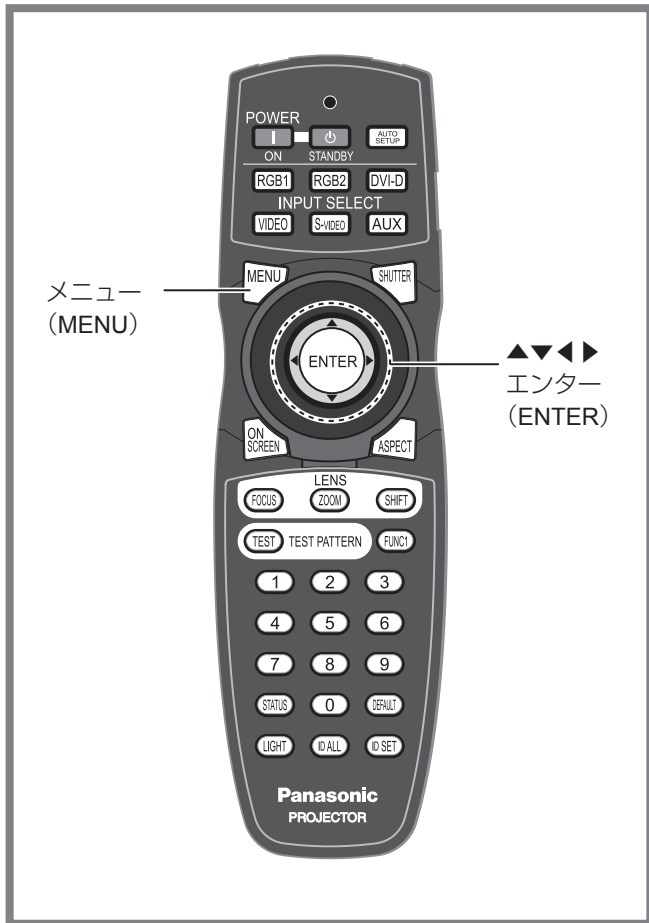


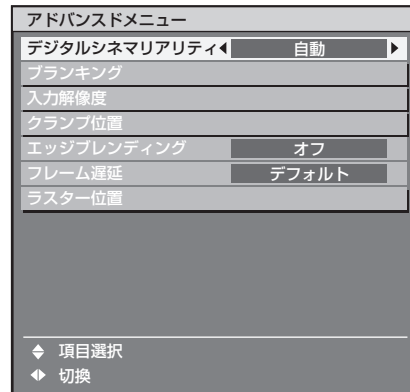
アドバンスドメニューの使いかた



デジタルシネマリアリティ

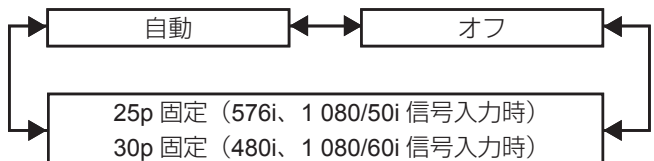
PAL (または SECAM) の 576i 信号や NTSC の 480i 信号、および 1 080/50i、1 080/60i 信号が入力されたとき、垂直解像度をさらに上げることができます。

1. ▲▼ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を選択する



2. ◀▶ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 自動：**
自動検出し、シネマ処理をする (工場出荷設定値)
- オフ：**
シネマ処理をしない
- 25p 固定：**
576i または 1 080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) をする
- 30p 固定：**
480i または 1 080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) をする

お知らせ

- デジタルシネマリアリティ では、2:2 でプルダウンされた信号以外を「30p 固定」または「25p 固定」に設定すると、画質が劣化します。(垂直解像度が悪くなります)

詳細設定ができます。

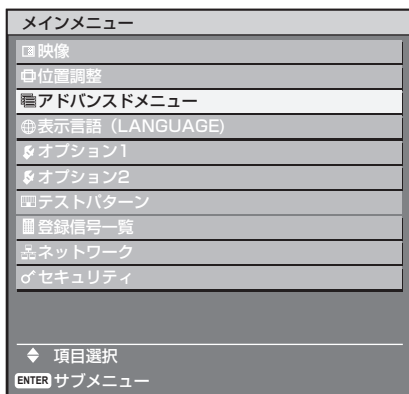


「メインメニュー」画面を表示する



「アドバンスドメニュー」を選択する

「アドバンスドメニュー」画面を表示する

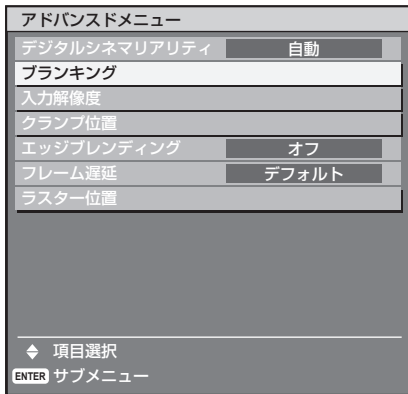


アドバンスドメニューの使いかた (つづき)

ブランキング調整

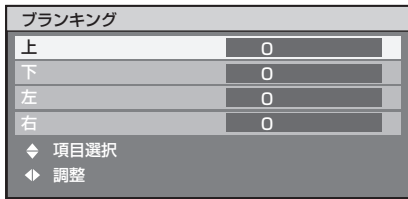
ビデオデッキなどの映像投写時に画面端にノイズが出ている場合やスクリーンから画像がわずかにはみ出ている場合などにブランキングで微調整できます。

1. ▲▼ボタンで「ブランキング」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「ブランキング」調整画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで調整項目を選択する

4. ◀▶ボタンでブランキング調整する

• TH-D10000 の場合の調整値は、上下 0 ~ 525、左右 0 ~ 700 まで変化します。
TH-DW10000 の場合の調整値は、上下 0 ~ 540、左右 0 ~ 960 まで変化します。

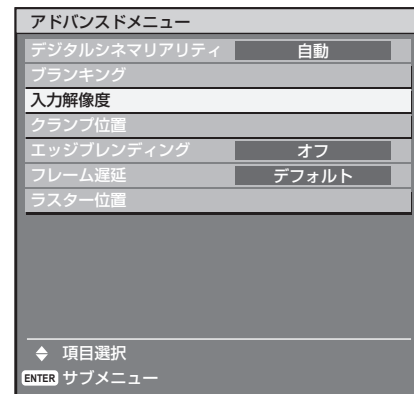
画面上側ブランキング補正 (上) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面下側ブランキング補正 (下) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	

画面左側ブランキング補正 (左) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	
画面右側ブランキング補正 (右) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	

入力解像度調整

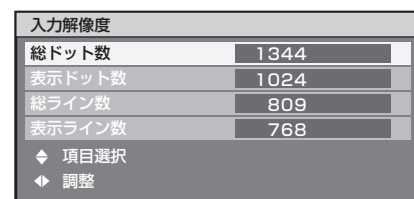
画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1. ▲▼ボタンで「入力解像度」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「入力解像度」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「総ドット数」、「表示ドット数」、「総ライン数」または「表示ライン数」を選択し、◀▶ボタンで調整する

• 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

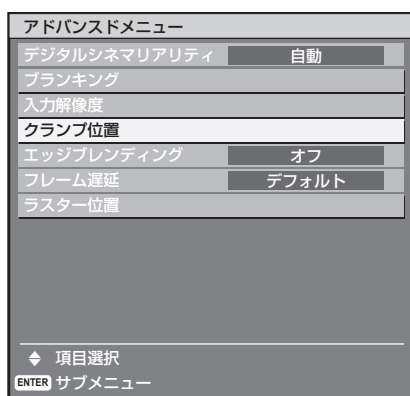
お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 入力解像度が調整できるのは、RGB1、RGB2 入力 で RGB 信号を入力した場合のみです。

クランプ位置調整

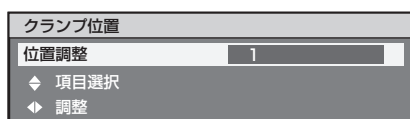
映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合はクランプ位置調整で最良点にします。

1. ▲▼ボタンで「クランプ位置」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「クランプ位置」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は 1 ~ 255 まで変化します。
- **クランプ位置調整の最適値**
黒部分がつぶれている場合：
黒部分のつぶれがもっとも改善する点が最適値です。
黒部分が緑色になっている場合：
緑色部分が黒くなりつぶれていない点が最適値です。

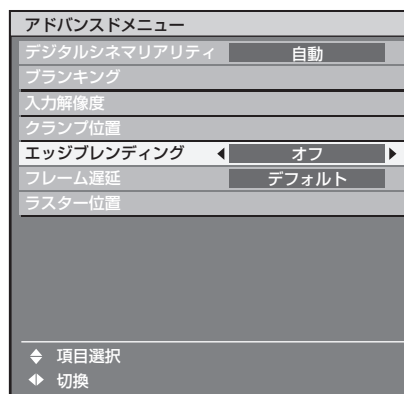
お知らせ

- クランプ位置の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力 で信号を入力した場合のみです。

エッジブレンディング調整

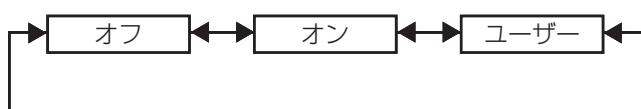
マルチ画面での使用時につなぎ目を目立ちにくくする機能を備えています。

1. ▲▼ボタンで「エッジブレンディング」を選択する



2. ◀▶ボタンで「エッジブレンディング」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **オフ**：
マルチ画面で使用しないとき。
- **オン**：
エッジブレンディング部の傾斜にセット内蔵の傾きを使用します。
- **ユーザー**：
エッジブレンディング部の傾斜に任意の傾きを使用します。(設定には別途ソフトウェアが必要で、販売店にご相談ください。)

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「エッジブレンディング」画面を表示します。



アドバンスドメニューの使いかた (つづき)

4. ▲▼ボタンで補正する場所を指定する

- 上をつなぐ場合：「上」を「オン」
- 下をつなぐ場合：「下」を「オン」
- 左をつなぐ場合：「左」を「オン」
- 右をつなぐ場合：「右」を「オン」

5. エンター (ENTER) ボタンを押して「オン」「オフ」を切り換える

6. ◀▶ボタンで補正幅および開始位置を調整する

■ 調整用のマーカーを表示させる場合

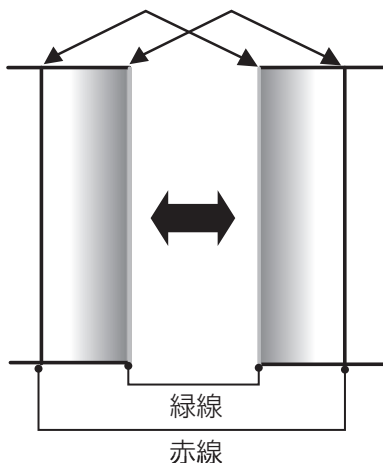
7. ▲▼ボタンで「マーカー」を選択する

エッジレンディング		
上	開始	0
	オフ	幅 128
下	開始	0
	オフ	幅 128
左	開始	0
	オフ	幅 128
右	開始	0
	オフ	幅 128
マーカー		オフ
黒レベル調整		
◆ 項目選択		
ENTER 切換		

8. エンター (ENTER) ボタンで「オン」に切り換える

- 映像位置調整用のマーカーが表示されます。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。

最適点はこの線が重なる点



9. ▲▼ボタンで「黒レベル調整」を選択する

エッジレンディング		
上	開始	0
	オフ	幅 128
下	開始	0
	オフ	幅 128
左	開始	0
	オフ	幅 128
右	開始	0
	オフ	幅 128
マーカー		オフ
黒レベル調整		
◆ 項目選択		
ENTER サブメニュー		

10. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベル調整」画面を表示します。

黒レベル調整	
黒レベル	インサイド
黒レベル	アウトサイド
上	0
下	0
左	0
右	0
◆ 項目選択	
◆ 調整	

11. ▲▼ボタンで「黒レベルインサイド」を選択する

12. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベル インサイド」個別調整画面を表示します。

黒レベル インサイド	
連動	オン
Wh	0
R	0
G	0
B	0
◆ 項目選択	
◆ 切換	

- 「連動」を「オフ」に設定すると、「R」、「G」、「B」の個別調整が可能です。

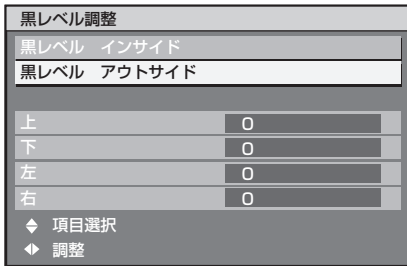
13. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する

- 調整が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押して「黒レベル調整画面」に戻ります。

14. ▲▼ボタンで「上」「下」「左」「右」を選択する

15. ◀▶ボタンで黒レベルインサイド補正する幅を調整する (0 ~ 255)

16. ▲▼ボタンで「黒レベルアウトサイド」を選択する



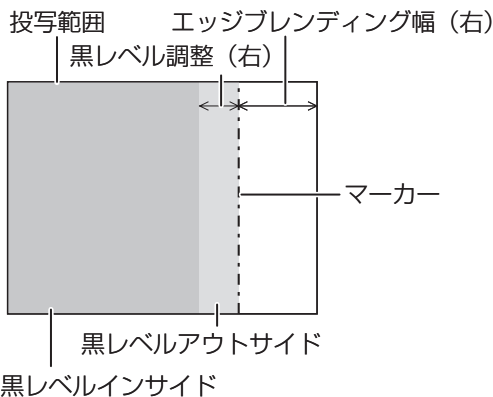
17. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベル アウトサイド」個別調整画面を表示します。



- 「連動」を「オフ」に設定すると、「R」、「G」、「B」の個別調整が可能です。

18. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する



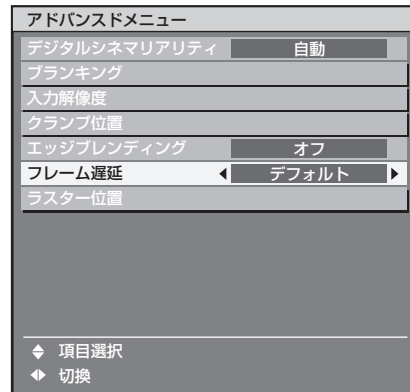
お知らせ

- 黒レベル調整は、エッジブレンディングを用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるのを目立ちにくくする機能です。黒レベルインサイドを調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の黒レベルが同じになる補正量が最適点です。黒レベルインサイドを調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ暗くなった場合は、黒レベルアウトサイドを調整してください。
- ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部分が不連続に見えることがあります。

フレーム遅延

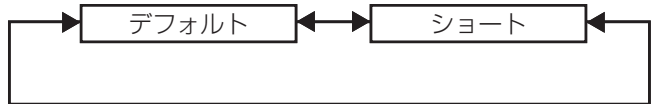
1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF 信号が入力されたとき、映像処理を簡略化することにより、映像のフレーム遅延を短くすることができます。

1. ▲▼ボタンで「フレーム遅延」を選択する



2. ◀▶ボタンで「フレーム遅延」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **デフォルト:**
標準の設定です。
- **ショート:**
映像が音声より遅れて表示される場合に設定します。

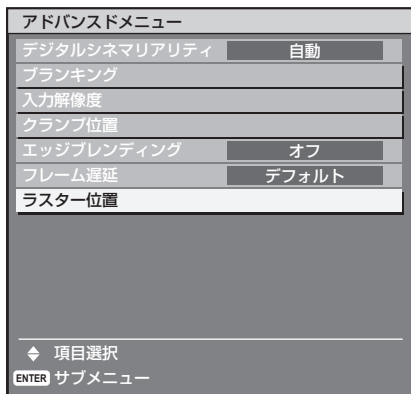
お知らせ

- 「フレーム遅延」が「ショート」に設定されている時は、画質が劣化します。またノイズリダクション機能は使えません。

ラスター位置

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

1. ▲▼ボタンで「ラスター位置」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「ラスター位置」画面を表示します。



3. ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

■ TH-D10000

5:4 の映像を表示している場合 (SXGA 信号入力時)	
▶ボタンを押すと、映像位置が右へ移動します。	
◀ボタンを押すと、映像位置が左へ移動します。	

16:9 の映像を表示している場合 (HDTV や 480p 映像入力、 または SIZE モードで 16:9 を選択時)	
▲ボタンを押すと、映像位置が上へ移動します。	
▼ボタンを押すと、映像位置が下へ移動します。	

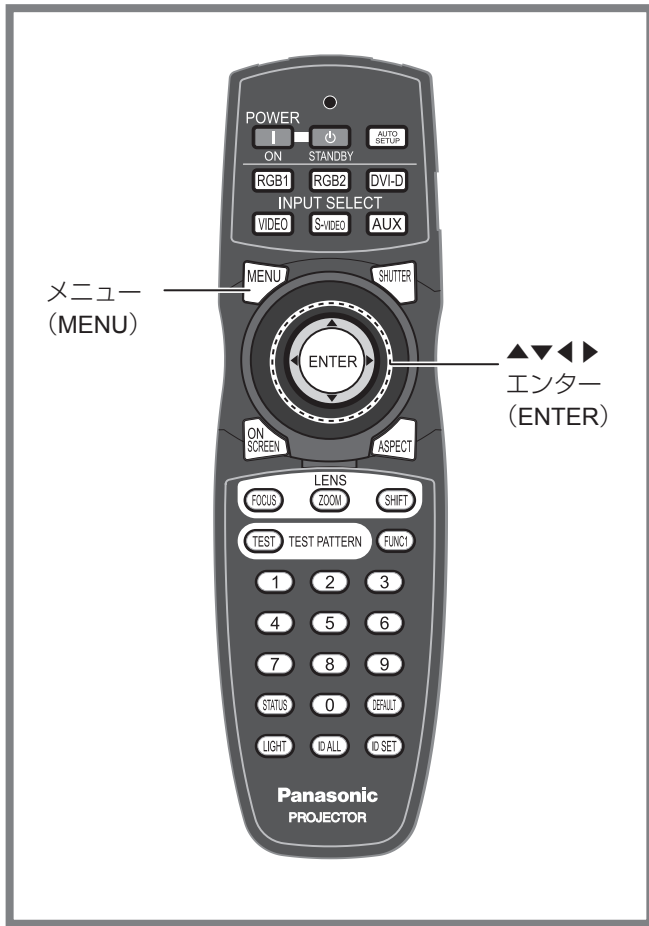
■ TH-DW10000

4:3 の映像を表示している場合	
▶ボタンを押すと、映像位置が右へ移動します。	
◀ボタンを押すと、映像位置が左へ移動します。	

4. メニュー (MENU) ボタンを 3 回 押す

• オンスクリーン画面が消え、通常画面に戻ります。

表示言語 (LANGUAGE) の設定



表示言語を切り換える

オンスクリーンの表示言語を切り換えることができます。

1. ▲▼ボタンで言語を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンで決定する

- 切り換わると、言語の表示が黄緑色に変わります。
- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語 (ENGLISH)、ドイツ語 (DEUTSCH)、フランス語 (FRANÇAIS)、スペイン語 (ESPAÑOL)、イタリア語 (ITALIANO)、日本語、中国語 (中文)、ロシア語 (русский)、韓国語 (한국어) の切り換えができます。

表示言語を切り換えることができます。

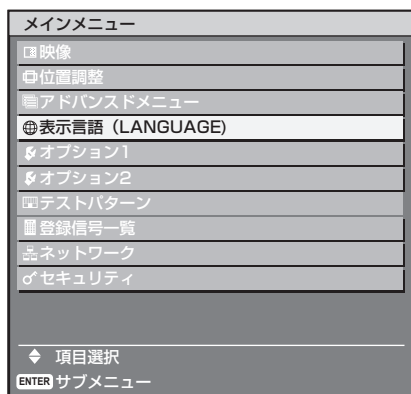


「メインメニュー」画面を表示する



「表示言語 (LANGUAGE)」を選択する

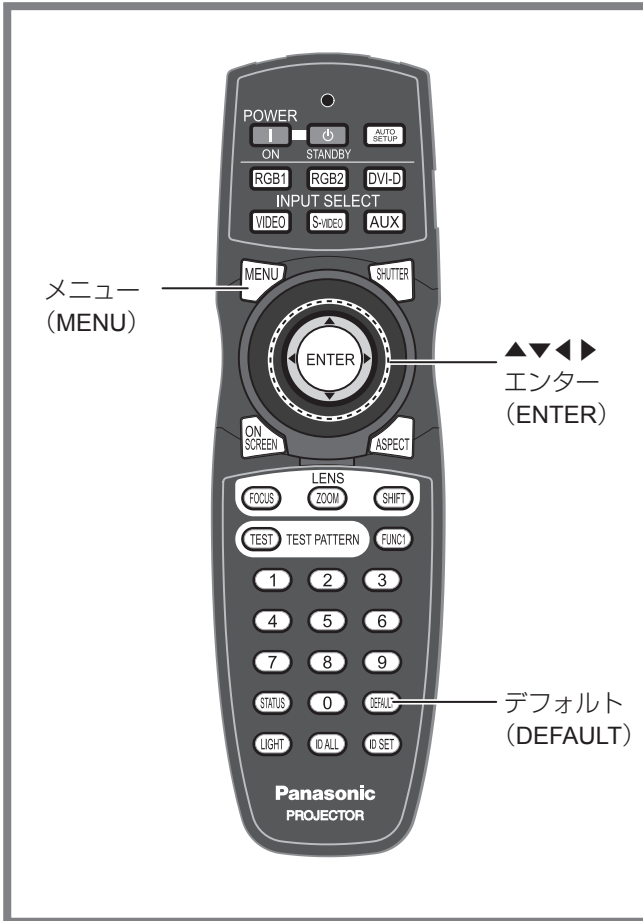
「表示言語 (LANGUAGE)」画面を表示する



お知らせ

- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

オプション1の設定



カラーマッチングの調整

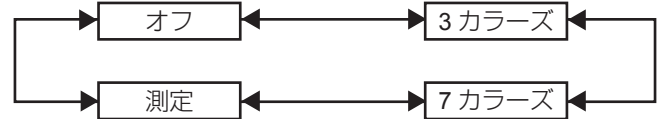
本機は複数のセットを同時に使うような用途で、セット間の色バラツキを補正する機能を備えています。

1. ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「カラーマッチング」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **オフ:**
カラーマッチングの調整をしません。
- **3 カラーズ:**
「R (赤)」「G (緑)」「B (青)」の3色を調整することができます。
- **7 カラーズ:**
「R (赤)」「G (緑)」「B (青)」「Cy (シアン)」「Mg (マゼンタ)」「Ye (イエロー)」「Wh (ホワイト)」の7色を調整することができます。
- **測定:**
このモードについての詳細は、次ページの「測定器を用いたカラーマッチング調整」をご覧ください。

さまざまな映像や本体の設定ができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「オプション1」を選択する

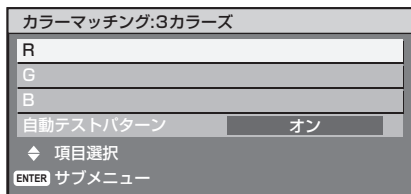
「オプション1」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション1	
オプション2	
テストパターン	
登録信号一覧	
ネットワーク	
セキュリティ	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

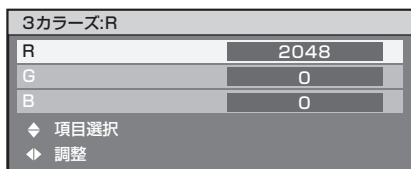
■ 手順2で「3 カラーズ」または「7 カラーズ」を選択した場合

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「カラーマッチング: 3 カラーズ」または「カラーマッチング: 7 カラーズ」画面を表示します。



4. ▲▼ボタンで「R」「G」「B」を選択する



5. エンター (ENTER) ボタンを押す

6. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は 0 ~ 2048 まで変化します。

お知らせ

- 調整色を補正する場合の動作:
調整色と同じ補正色を動かす場合:
調整色の輝度が変わります。
補正色赤を動かす場合: 調整色に赤を加減します。
補正色緑を動かす場合: 調整色に緑を加減します。
補正色青を動かす場合: 調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方もしくはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべてデフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- カラーマッチングの調整を「オフ」以外に設定した場合、色温度設定は「ユーザー 1」固定になります。

測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「R (赤)」「G (緑)」「B (青)」「Cy (シアン)」「Mg (マゼンタ)」「Ye (イエロー)」「Wh (ホワイト)」の色をお好みの色に変更することができます。

■ 現在の輝度と色度座標を入力する

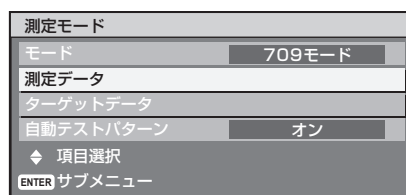
1. ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する



2. ◀▶ボタンで「測定」を選択する

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

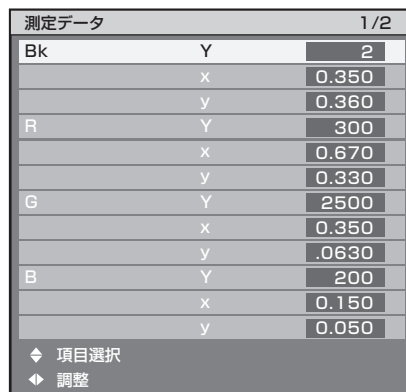
- 「測定モード」画面を表示します。



4. ▲▼ボタンで「測定データ」を選択する

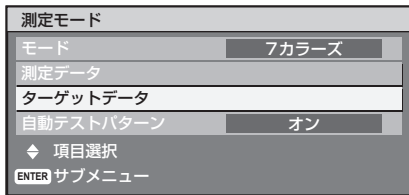
5. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「測定データ」画面を表示します。



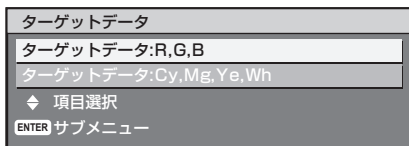
オプション 1 の設定 (つづき)

6. 色彩色度計で輝度 (Y) と色度座標 (x、y) を測定する
7. ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンで数値を調整する
8. すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す
 - 「測定モード」画面を表示します。



■ お好みの色の座標を入力する

9. ▲▼ボタンで「モード」を選択する
10. ◀▶ボタンで「7 カラーズ」を選択する
11. ▲▼ボタンで「ターゲットデータ」を選択する
12. エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ターゲットデータ」画面を表示します。



13. ▲▼ボタンで「R、G、B」または「Cy、Mg、Ye、Wh」を選択する
14. エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ターゲットデータ: R、G、B (または Cy、Mg、Ye、Wh)」画面を表示します。



15. ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンでお好みの色の座標を入力する

16. すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す

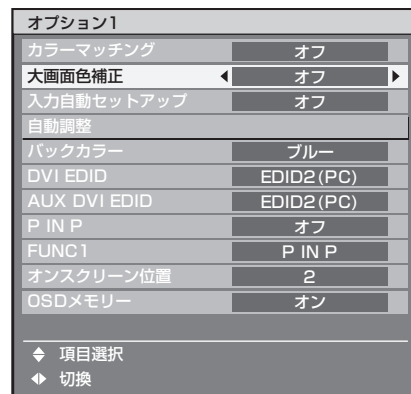
お知らせ

- 「ターゲットモード」で「3 カラーズ」または「709 モード」を選択すると、「ターゲットデータ」は R、G、B の3色のみの入力となります。
- 「ターゲットモード」で「709 モード」を選択すると、ITU-R BT.709 規格の3原色がターゲットデータとして設定されます。
- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。

大画面色補正

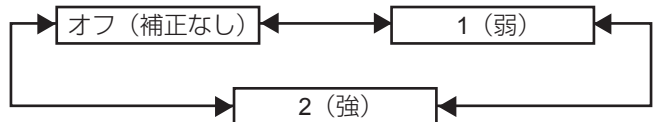
大きな画面サイズの映像を近くで見た時、普通の画面サイズより色が薄くなって見える映像を同じような色に見えるように補正します。

1. ▲▼ボタンで「大画面色補正」を選択する



2. ◀▶ボタンで「大画面色補正」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



入力自動セットアップ

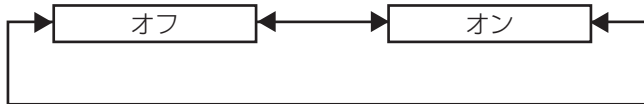
会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンのオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整することができます。

1. ▲▼ボタンで「入力自動セットアップ」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「入力自動セットアップ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 「オン」にすると、未登録の信号が入力された場合、自動でオートセットアップを行います。

自動調整 (RGB 信号入力時のみ対応)

特殊な信号や横長 (16:9 等) の信号を調整するときに設定します。

1. ▲▼ボタンで「自動調整」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「自動調整」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



• デフォルト :

画像アスペクトが 4:3、5:4 の信号を受像する場合 (対応解像度は、640 × 400、640 × 480、800 × 600、832 × 624、960 × 720、1 024 × 768、1 152 × 864、1 152 × 870、1 280 × 960、1 280 × 1 024、1 600 × 1 200、1 400 × 1 050 です)

• ワイド :

画像アスペクトが横長 16:9 の信号を受像する場合 (対応解像度は、720 × 400、1 280 × 720、1 280 × 800、1 280 × 768、1 376 × 768、1 600 × 1 024 です)

• ユーザー :

特殊な水平解像度 (表示ドット数) の信号を受像する場合

4. 「ユーザー」を選択した場合は ◀▶ボタンで「表示ドット数」に信号源の水平解像度を入力する

5. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 自動調整を実行します。自動調整中は「実行中」と表示されます。終了すると入力画面に戻りません。

オプション1の設定(つづき)

バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

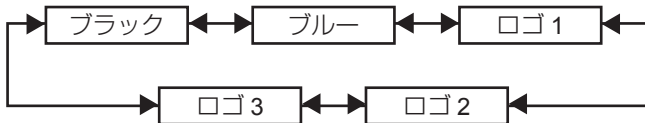
1. ▲▼ボタンで「バックカラー」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「バックカラー」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- ブラック：**
投写画面全体に黒色を表示します。
- ブルー：**
投写画面全体に青色を表示します。
- ロゴ1：**
投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ2：**
投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ3：**
投写画面に Panasonic ロゴを表示します。

お知らせ

- 「ロゴ1」と「ロゴ2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

DVI EDID

接続機器に合わせて EDID の設定を行います。

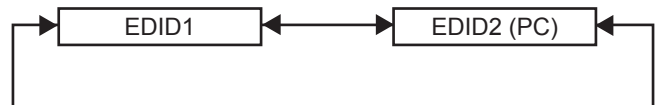
1. ▲▼ボタンで「DVI EDID」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「DVI EDID」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- EDID1 (対応入力信号フォーマット)：**
480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p
1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、
1 080/24sF、1 080/23.98sF
1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、
1 080/24p、1 080/23.98p、1 080/60p、
1 080/59.94p、1 080/50p
- EDID2 (PC) (対応入力信号フォーマット)：**
表示可能解像度：
VGA ～ UXGA (ノンインターレース)
ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz

お知らせ

- EDID2 (PC) 設定時はインターレース信号に対応していません。

AUX DVI EDID (ET-MD77DV 装着時のみ)

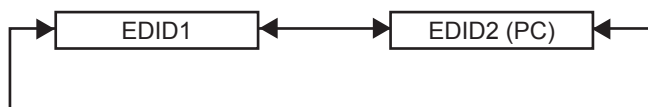
接続機器に合わせて EDID の設定を行います。

1. ▲▼ボタンで「AUX DVI EDID」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「AUX DVI EDID」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **EDID1 (対応入力信号フォーマット) :**
480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p
1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、
1 080/24sF、1 080/23.98sF
1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、
1 080/24p、1 080/23.98p、1 080/60p、
1 080/59.94p、1 080/50p
- **EDID2 (PC) (対応入力信号フォーマット) :**
表示可能解像度 :
VGA ~ UXGA (ノンインターレース)
ドットクロック周波数 : 25 MHz ~ 162 MHz

お知らせ

- EDID2 (PC) 設定時はインターレース信号に対応していません。

P IN P

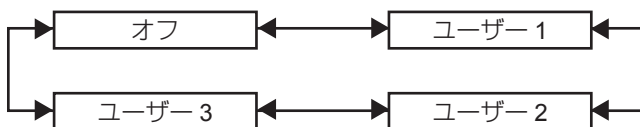
ピクチャ イン ピクチャの条件を設定します。

1. ▲▼ボタンで「P IN P」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「P IN P」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **オフ :**
P IN P を設定しません。
- **ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3 :**
メインウィンドウ、サブウィンドウに入力する信号を設定できます。

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「P IN P: ユーザー 1」「P IN P: ユーザー 2」または「P IN P: ユーザー 3」画面を表示します。

P IN P: ユーザー 1	
メインウィンドウ	RGB1
サイズ	
位置調整	
サブウィンドウ	ビデオ
サイズ	
位置調整	
フレームロック	メイン
タイプ	メイン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

オプション 1 の設定 (つづき)

4. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

• メインウィンドウ：

メインウィンドウとして表示する入力端子を表示。◀▶ボタンで選択することができます。
サイズ：メインウィンドウの表示サイズの設定。
10%～100%の間で設定。
位置：メインウィンドウの表示位置を画面内で設定。

• サブウィンドウ：

サブウィンドウとして表示する入力端子を表示。◀▶ボタンで選択することができます。
サイズ：サブウィンドウの表示サイズの設定。
10%～100%の間で設定できます。
位置：サブウィンドウの表示位置を画面内で設定。

• フレームロック：

フレームロックを適用するウィンドウを選択。
「メインウィンドウ」：メインウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。
「サブウィンドウ」：サブウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。

• タイプ：

ウィンドウが重なった場合に優先的に表示するウィンドウを選択。
「メインウィンドウ」：メインウィンドウを優先的に表示。
「サブウィンドウ」：サブウィンドウを優先的に表示。

お知らせ

- 入力されている信号および選択されている入力端子によっては P IN P 機能を使用することができません。詳しくは、「P IN P 一覧表」をご覧ください。(120 ページ)
- 映像モード、ガンマ選択、色温度設定などの映像調整値はメインウィンドウの設定値が適用されます。
- 通常画面（メニューが表示されていない状態）において、P IN P 動作中に◀▶ボタンでメインウィンドウとサブウィンドウのサイズと位置を入れ替えることができます。

FUNC1 の設定

リモコンの FUNC1 ボタンの機能を設定します。

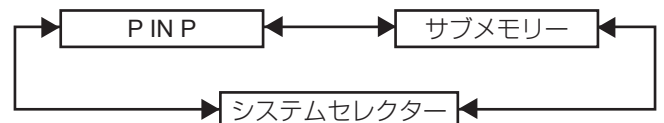
1. ▲▼ボタンで「FUNC1」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	◀ P IN P ▶
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「FUNC1」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



• P IN P：

P IN P のオフ/ユーザー1/ユーザー2/ユーザー3を切り換えることができます。(73 ページ)

• サブメモリー：

サブメモリーの切り換えができます。(42 ページ)

• システムセクター：

システムセクターの切り換えができます。(55 ページ)

オンスクリーン位置

オンスクリーン表示画面の位置を設定できます。

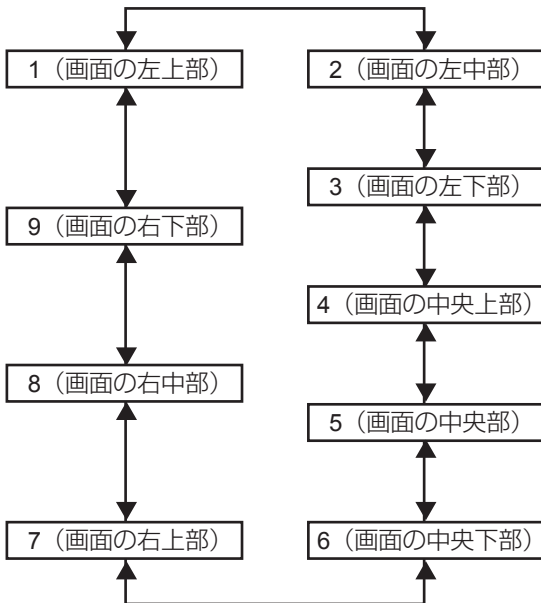
1. ▲▼ボタンで「オンスクリーン位置」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「オンスクリーン位置」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



OSD メモリー

オンスクリーンメニューのカーソルの位置の保持状態を設定できます。

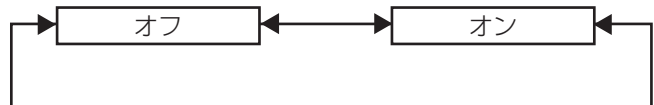
1. ▲▼ボタンで「OSD メモリー」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

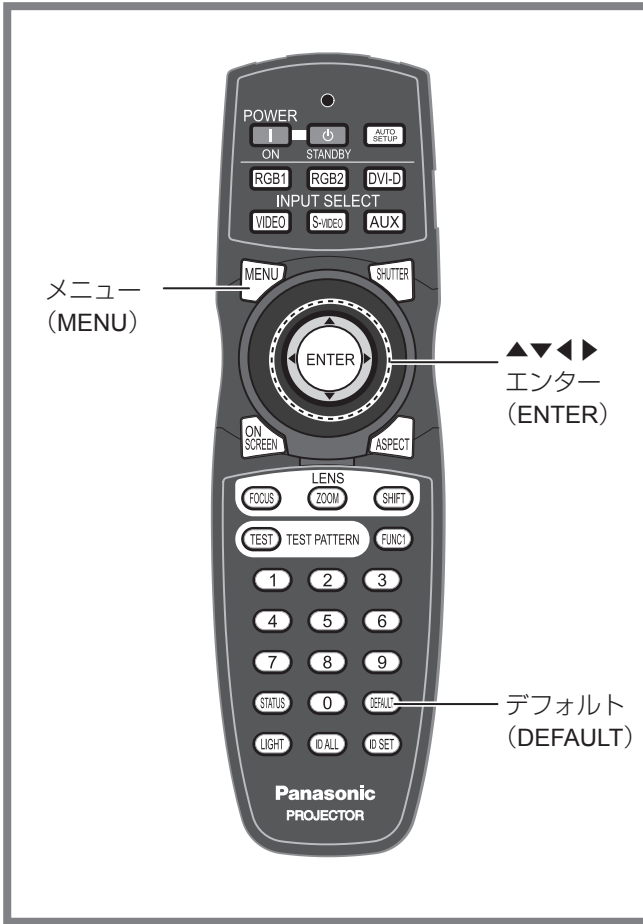
◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「OSD メモリー」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



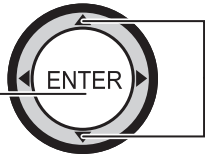
オプション2の設定



さまざまな映像や本体の設定ができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「オプション2」を選択する

「オプション2」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション1	
オプション2	
テストパターン	
登録信号一覧	
ネットワーク	
セキュリティ	
◆ 項目選択	
ENTER	サブメニュー

プロジェクター ID の設定

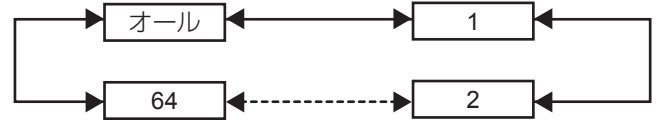
本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1つのリモコンで同時制御や個別制御できます。工場出荷時は「オール」に設定されていますので、1台だけでご使用の場合は ID ナンバーの設定の必要はありません。

1. ▲▼ボタンで「プロジェクター ID」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ	ロゴ
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「プロジェクター ID」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



3. メニュー (MENU) ボタンを2回押す

- 設定が終了しオンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

お知らせ

- ID ナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
- ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても ID ナンバー「オール」の本機は動作します。本機を複数台並べて設置の場合、ID ナンバーを「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンの ID 設定のしかたは 18 ページをご参照ください。

設置設定

本機の設置状態に合わせて、投写方式の設定ができます。画面表示が上下逆になったり、反転して映っている場合は、投写方式を変更してください。

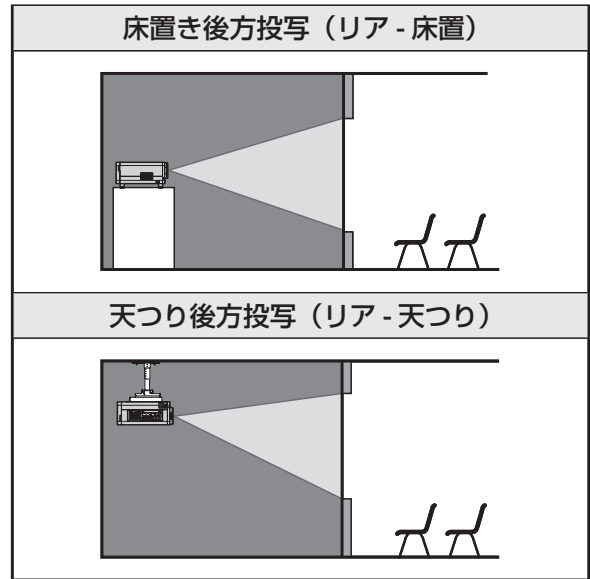
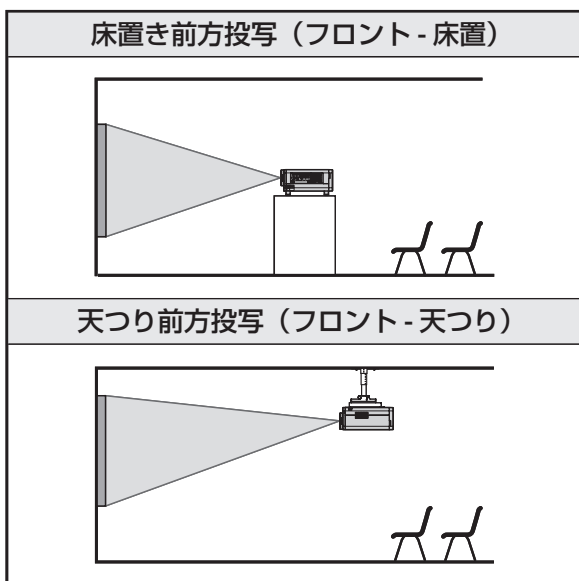
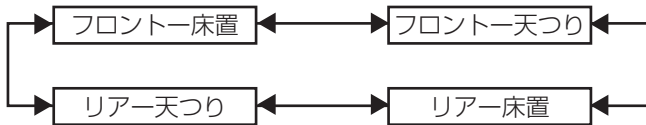
- リモコンまたは本体操作部のボタン操作でオンスクリーン画面を表示させて設定します。

1. ▲▼ボタンで「設置設定」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	◀ フロント-床置 ▶
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ロゴ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「設置設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



3. メニュー (MENU) ボタンを2回押す

- オンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

ファン制御

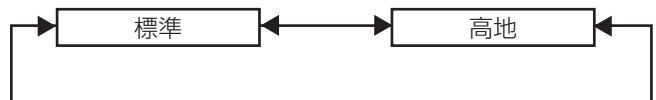
海拔 1 400 m 以上の場所で使用する場合は、「高地」に設定します。

1. ▲▼ボタンで「ファン制御」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロント-床置
ファン制御	◀ 標準 ▶
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ロゴ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「ファン制御」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



オプション2の設定 (つづき)

設置角度

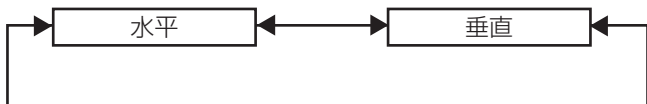
設置角度によってファンを制御します。

1. ▲▼ボタンで「設置角度」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「設置角度」を切り換える

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **水平:**
標準の設置です。
- **垂直:**
垂直方向に大きく傾けて（水平から 30° を超える角度で）投写するときに選択します。

お知らせ

- 垂直下向きおよび、その前後 45° の向きには設置できません。（11 ページ）

出力解像度 (D10000 のみ)

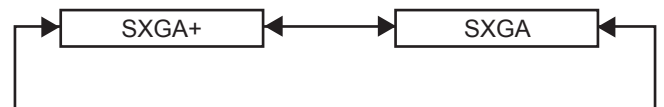
アスペクト比が 5:4 のスクリーン (SXGA 用) に投写する場合、SXGA 解像度で表示することができます。

1. ▲▼ボタンで「出力解像度」を選択する

オプション2		1/2
プロジェクターID	2	
設置設定	フロントー床置	
ファン制御	標準	
設置角度	水平	
出力解像度	SXGA+	
ランプ選択	クワッド	
ランプリレー	オフ	
RS-232C		
システム情報		
エアフィルター清掃		
日付と時刻		
スタートアップ ログ	ログ1	
◆ 項目選択		
◆ 切換		

2. ◀▶ボタンで「出力解像度」を切り換える

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **SXGA+ (1 400 × 1 050) :**
アスペクト比が 4:3 のスクリーンに投写するとき
- **SXGA (1 280 × 1 024) :**
アスペクト比が 5:4 のスクリーンに投写するとき

ランプ選択

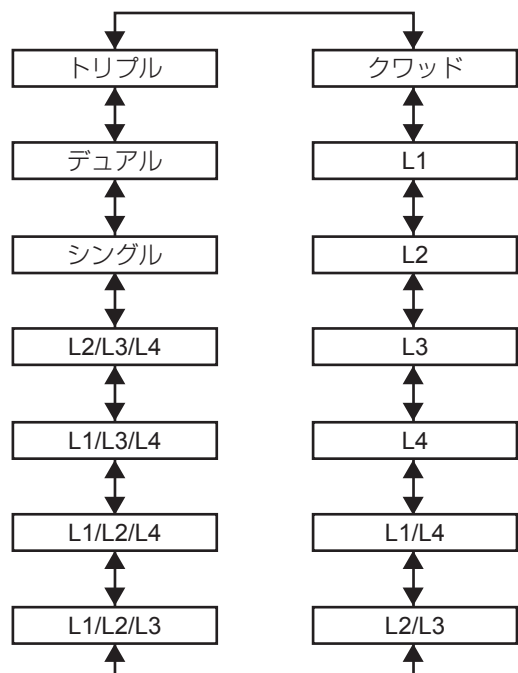
本体に内蔵されている 4 個の光源ランプを使用条件や目的に合わせ 4 段階の明るさに切り換えることができます。

1. ▲▼ボタンで「ランプ選択」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	ENTER 実行

2. ◀▶ボタンで「ランプ選択」を切り換える

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 「クワッド」：4 灯が点灯します。
- 「L1」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 を優先します)
- 「L2」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 2 を優先します)
- 「L3」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 3 を優先します)
- 「L4」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 4 を優先します)
- 「L1/L4」：2 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 4 を優先します)
- 「L2/L3」：2 灯が点灯します。
(ランプユニット 2 と 3 を優先します)
- 「L1/L2/L3」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 2 と 3 を優先します)
- 「L1/L2/L4」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 2 と 4 を優先します)
- 「L1/L3/L4」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 3 と 4 を優先します)
- 「L2/L3/L4」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 2 と 3 と 4 を優先します)
- 「シングル」：1 灯が点灯します。
(使用時間の短いランプを自動選択します)
- 「デュアル」：2 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 4 か、2 と 3 の使用時間の短いランプを自動選択します)
- 「トリプル」：3 灯が点灯します。
(使用時間の短いランプを自動選択します)

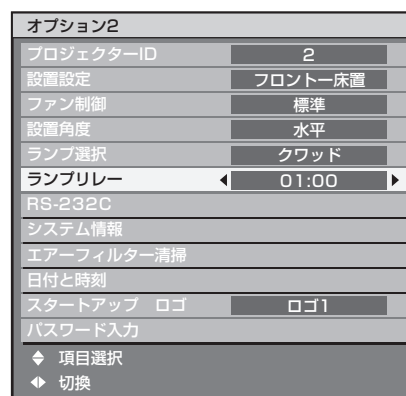
- ランプ選択メニューの文字色は、選択されている場合は「緑色」になります。またランプの状態により文字色が変わります。
「黄色」：いずれかのランプが点灯に失敗している場合
「白色」：選択されていない項目
「赤色」：点灯に失敗しているランプ

ランプリレー

24 時間以上連続で使用する場合、自動で点灯するランプを切り換えることによりランプの連続使用による劣化を軽減することができます。

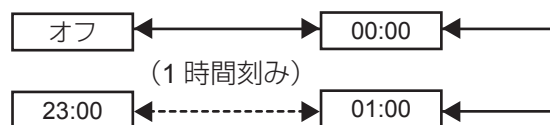
- ランプ選択で「シングル」(1 灯)、「デュアル」(2 灯)、「トリプル」(3 灯)、「クワッド」(4 灯) を選択した場合にのみ「ランプリレー」が有効になります。

1. ▲▼ボタンで「ランプリレー」を選択する



2. ◀▶ボタンで「ランプリレー」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のようにランプを切り換える時刻が切り換わります。



3. エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- 「クワッド」以外のとき、ランプが失灯または、積算時間が2 000 時間を超えるとそのランプを消灯し、他のランプを点灯させます。「クワッド」のときは失灯または 2 000 時間を超えたランプは消灯し、2 000 時間を超えていないランプのみ点灯します。また、全てのランプ積算時間が 2 000 時間を超えると本機はスタンバイ状態になります。
- 点灯させないランプユニットも、必ず装着してください。
- ランプ選択を変更された場合、ランプ切り換え実行中映像ミュートがかかります。(7 ~ 25 秒)
- ランプ切り換え時には、照度低下を防ぐため一時的に指定したランプの個数よりも多くのランプが点灯します。

お知らせ

- ランプ選択を変更された場合、ランプ切り換え実行中映像ミュートがかかります。(7 ~ 25 秒)
- ランプ選択で「シングル」「デュアル」を選択している場合、指定時刻にランプを切り換えます。
- ランプ選択で「トリプル」を選択している場合、指定時刻から 2 時間ごとにランプ切り換えを合計 3 度行い、その後翌指定時刻まで直前の状態を維持します。
- ランプ選択で「クワッド」を選択した場合、指定時刻から 3 灯になり、2 時間ごとに 3 灯のランプ切り換えを合計 4 度行います。その後指定時刻から 8 時間後に 4 灯になり、翌指定時刻から再び 3 灯での切り換えを行いません。
- 設定時刻はローカル時刻です。(82 ページ)

オプション2の設定 (つづき)

RS-232C

通信条件を設定します。

1. ▲▼ボタンで「RS-232C」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

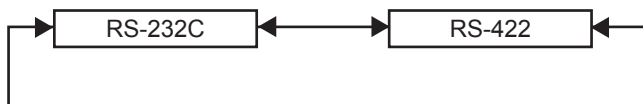
• 「RS-232C」画面を表示します。

RS-232C	
シリアル入力(SERIAL IN) ◀	RS-232C ▶
(入力) 通信速度	38400
(入力) パリティ	偶数
(出力) 通信速度	38400
(出力) パリティ	偶数
VPSシステム	マスター
グループ	A
	マスター
◆ 項目選択	
◆ 切換	

3. ▲▼ボタンで「シリアル入力」を選択する

4. ◀▶ボタンで「シリアル入力」を切り換える

• ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



5. ▲▼ボタンを押して通信条件を選ぶ
6. ◀▶ボタンを押して設定する
7. メニュー (MENU) ボタンを3回押す

• オンスクリーン表示が消え、通常画面に戻ります。

システム情報

本機のシステム情報を見ることができます。

1. ▲▼ボタンで「システム情報」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「システム情報」画面を表示します。

システム情報	
ROMバージョン	1.00.00
ネットワークバージョン	1.00
サブバージョン	1.00
プロジェクター使用時間	1000h
ランプ1使用時間	500h
ランプ2使用時間	500h
ランプ3使用時間	500h
ランプ4使用時間	500h
◆ 切換	

3. ◀▶ボタンを押して次ページへ移動する

システム情報	
オンカウント	
パワーオン	100
ランプ1オン	50
ランプ2オン	50
ランプ3オン	50
ランプ4オン	50
シャッター	9 (0)
エアフィルター清掃	3 (0)
AUX	MD77DV:DN
登録信号数	1/96
◆ 切換	

エアフィルター清掃

エアフィルターの清掃設定ができます。

1. ▲▼ボタンで「エアフィルター清掃」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「エアフィルター清掃」画面を表示します。
- 自動清掃時刻の設定 (「時刻」) と強制清掃 (「実行」) を選択できます。

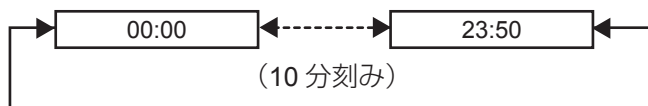
エアフィルター清掃	
時刻	◀ 00:00 ▶
実行	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

3. ▲▼ボタンで「時刻」を選択する

- 「時刻」を選択して、自動的に清掃を行う時刻を設定します。
- ただちに清掃を実行したいときは「実行」を選択して、エンター (ENTER) ボタンを押してください。

4. ◀▶ボタンで「時刻」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

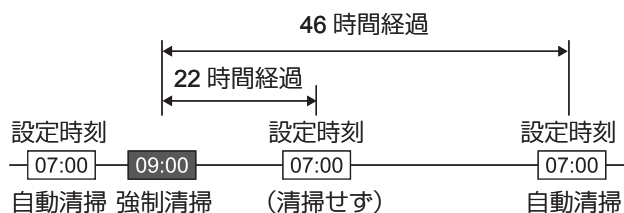


- 初期設定 (デフォルト) は 00:00 (深夜零時) になっています。

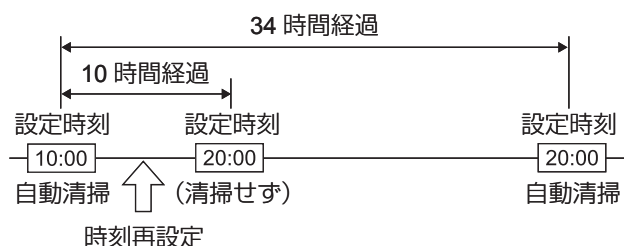
例: 初期設定の状態では、00:00 に投写状態であれば自動的に清掃を開始します。
7:00 に設定した場合、その時刻に投写状態であれば自動的に清掃を開始します。

お知らせ

- エアフィルター清掃では油分やタバコのヤニなど固着する汚れを清掃することはできません。
- エアフィルター清掃中は、エアフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) が青色で点滅します。エアフィルター異常時は、エアフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) が赤色で点灯します。
- 清掃時間は約 30 秒～ 40 秒です。
- 設定時刻はローカル時刻です。(82 ページ)
- スタンバイ状態では自動清掃は行いません。
- 設定時刻に投写状態でない場合は、自動清掃は行いません。
- 前回の清掃 (自動清掃および強制清掃) から 24 時間以上経過していなければ自動清掃は行いません。
例: 清掃時刻の設定が 7:00 で、9:00 に強制清掃を行った場合、翌日 7:00 の自動清掃は行いません。



- 前回の清掃から 24 時間以内の時刻に設定を選択しなおした場合、その時刻には自動清掃を行いません。翌日の設定時刻に清掃を行います。
例: 10:00 に清掃を行った後に、清掃時刻を 20:00 に設定変更した場合、自動清掃は翌日の 20:00 に行います。



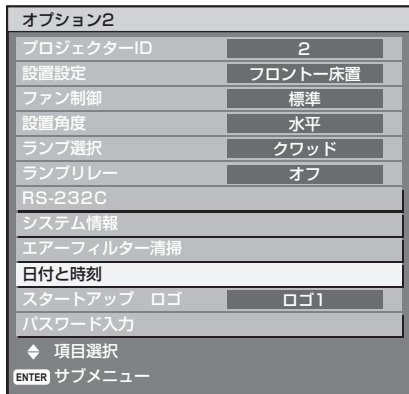
- 投写を開始 (電源オン) した際に、前回の清掃から 24 時間以上経過していた場合は、直ちに自動的に清掃を開始します。

オプション2の設定 (つづき)

日付と時刻設定

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定できます。

1. ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「日付と時刻」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「タイムゾーン」を選択する

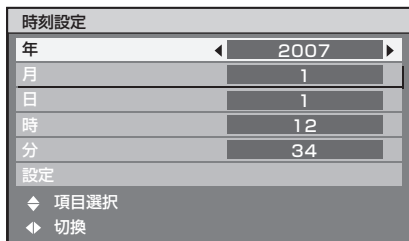
4. ◀▶ボタンで「タイムゾーン」を切り換える

- 日本は「9:00」で設定してください。

5. ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「時刻設定」画面を表示します。



7. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル時刻を設定する

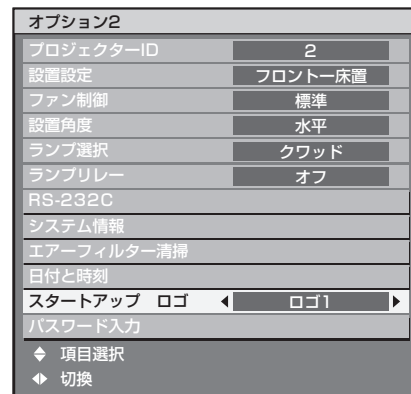
8. ▲▼ボタンで「設定」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

- 時刻設定が完了します。

スタートアップロゴ

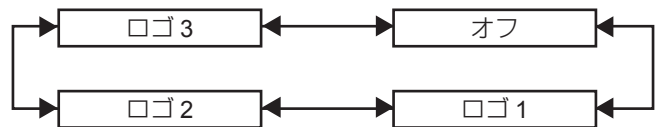
電源を入れた時に表示するロゴを設定します。

1. ▲▼ボタンで「スタートアップロゴ」を選択する



2. ◀▶ボタンで「スタートアップロゴ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **ロゴ3:**
Panasonic ロゴと DIGITAL PROJECTOR ロゴを表示します。
- **オフ:**
スタートアップロゴ表示を無効にします。
- **ロゴ1:**
ユーザーが登録した画像を表示します。
- **ロゴ2:**
ユーザーが登録した画像を表示します。

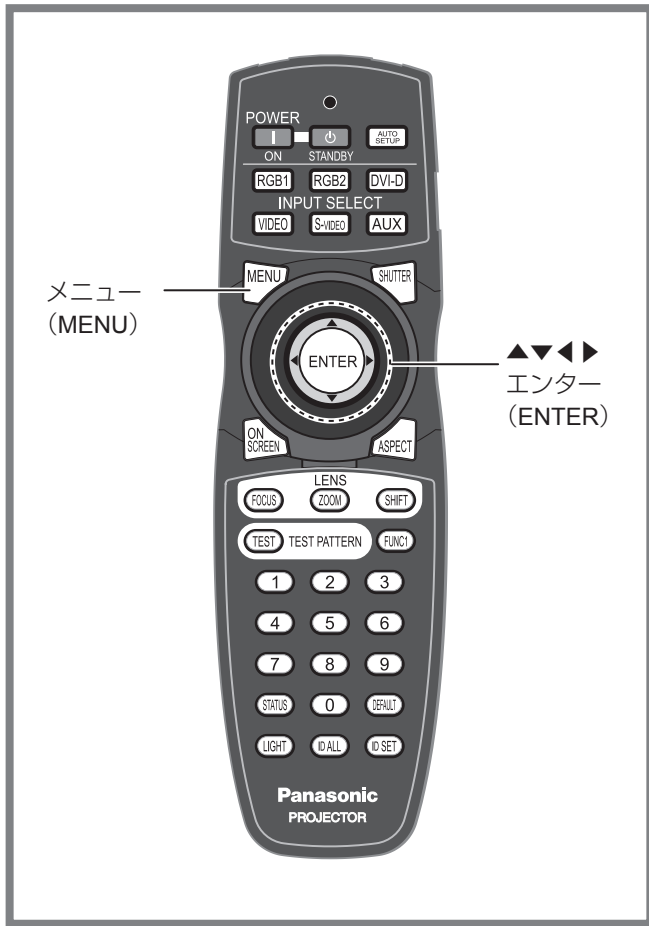
お知らせ

- 「ロゴ1」と「ロゴ2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

パスワード入力

サービスマンが使用します。
リモコンの数字ボタン (0 ~ 9) で入力し、エンター (ENTER) ボタンで確定します。

内蔵テストパターンを表示



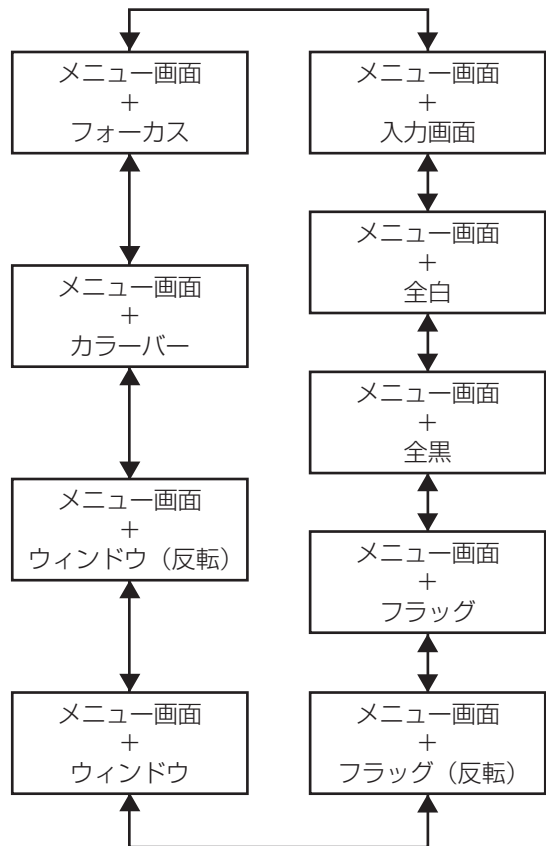
テストパターン

位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

1. ◀▶ボタンで各種テストパターンを切り換える

■ 内蔵テストパターンの表示チャート

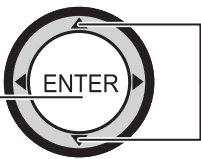
◀▶ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



セットの状態を確認するためのテストパターンを8種類内蔵しています。

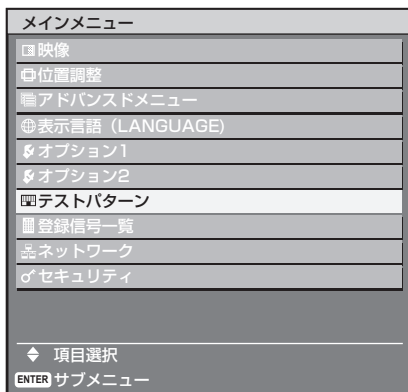


「メインメニュー」画面を表示する



「テストパターン」を選択する

「テストパターン」画面を表示する



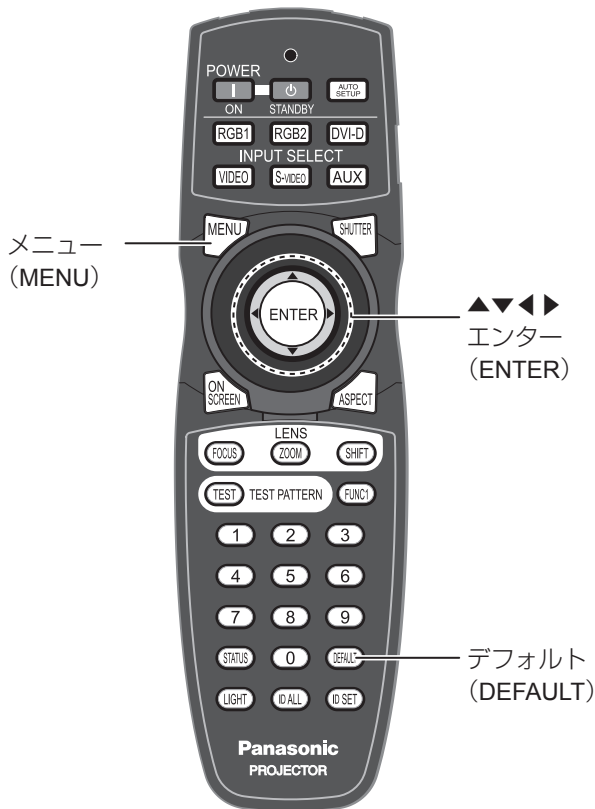
便利な使い方

ネットワーク機能の使いかた

ネットワーク機能の初期設定

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワーク機能の初期設定を行ってください。

1. ▲▼ボタンで各項目を選択し、エンター（ENTER）ボタンで設定を変更する



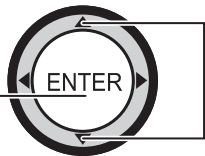
ネットワーク	
ホストネーム	PROJECTOR
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168. 0. 8
ポート	80
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
ステータス	
保存	
◆ 項目選択	
ENTER 調整	

- **ホストネーム（ホスト名の表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用する場合などに変更してください。
- **DHCP（DHCP クライアント機能）：**
DHCP サーバーを利用し自動的に IP アドレスを取得する場合は DHCP 項目をオンにします。DHCP サーバーを利用しない場合はオフにします。
- **IP アドレス（IP アドレスの表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
- **ポート（Web ブラウザとの接続ポート番号の表示および設定）：**
通常は 80 を使用します。
- **サブネットマスク（サブネットマスクの表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
- **ゲートウェイ（ゲートウェイアドレスの表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

ネットワーク機能を使用することができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「ネットワーク」を選択する

「ネットワーク」画面を表示する

メインメニュー	
□ 映像	
□ 位置調整	
≡ アドバンスドメニュー	
⊕ 表示言語 (LANGUAGE)	
⊕ オプション1	
⊕ オプション2	
⊕ テストパターン	
⊕ 登録信号一覧	
⊕ ネットワーク	
⊕ セキュリティ	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. ▲▼ボタンで「保存」を選択し、 エンター（ENTER）ボタンを押す

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認ください。
- IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワーク機能の設定を 工場出荷状態に戻す

IP アドレスやパスワード、Eメールの設定などネットワーク機能の全ての設定を工場出荷状態にできます。

1. ▲▼ボタンで「保存」を選択する

ネットワーク	
ホストネーム	PROJECTOR
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168. 0. 8
ポート	80
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
ステータス	
保存	
◆ 項目選択	
ENTER 保存	

2. デフォルト（DEFAULT）ボタンを 3 秒間押し続ける

- 確認画面を表示します。
実行しない場合はメニュー（MENU）ボタンを押すと「ネットワーク設定」画面を表示します。

全てのネットワーク設定を 工場出荷状態に戻しますか？	
実行	中止
◆ 切換	
ENTER 実行	

3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- IP アドレスやパスワード、Eメールの設定などネットワーク機能の全ての設定は工場出荷状態に戻ります。

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

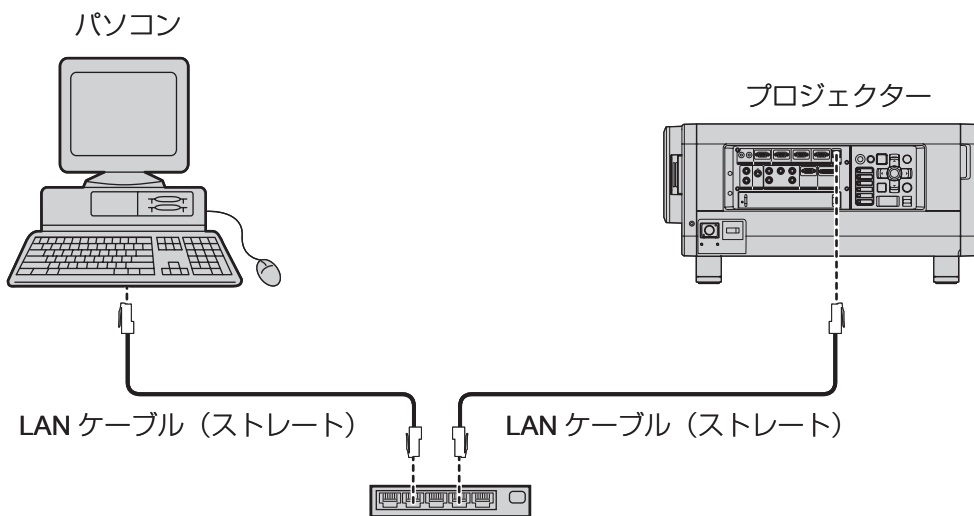
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、Web ブラウザコントロールを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時の E メールメッセージの送信

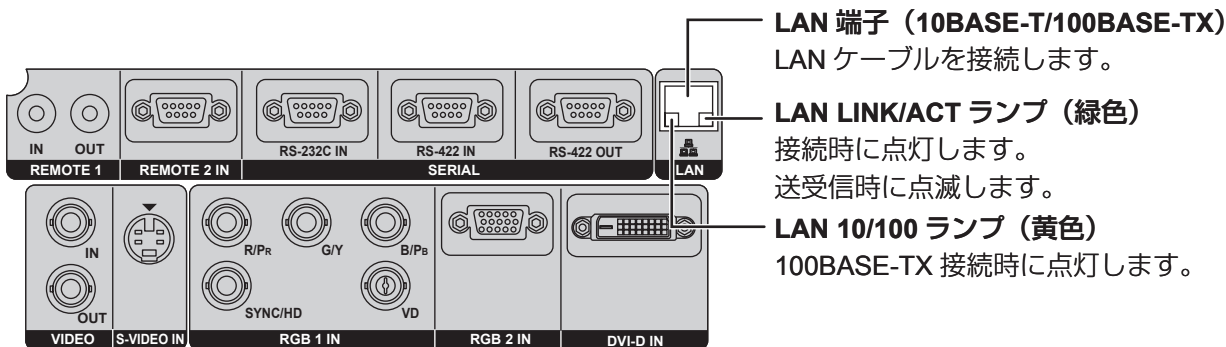
お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、Web ブラウザが必要です。あらかじめ Web ブラウザが利用できることを確認してください。
- パソコンの OS は、Microsoft Windows 98SE/Me/NT4.0/2000/XP をご利用ください。
- Web ブラウザは Internet Explorer 6.0 以降または Netscape Communicator 7.0 以降をご利用ください。
- E-メール機能をご使用になる場合は、E-メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E-メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはストレート結線でカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下でご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称と働き



お願い

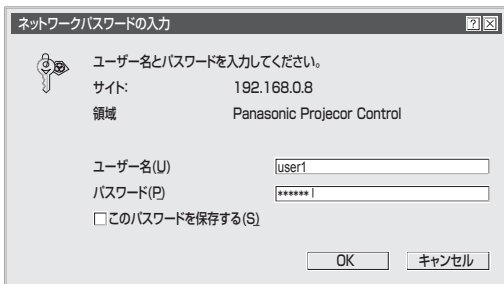
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子及び LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。

Web ブラウザからのアクセスのしかた

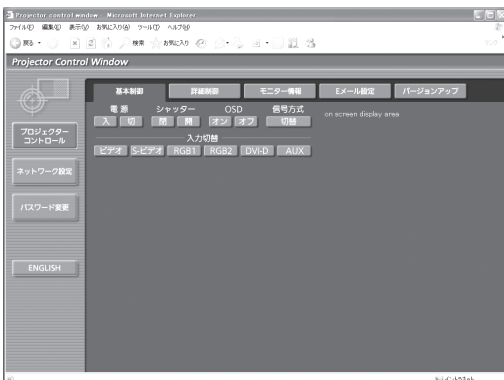
1. パソコンの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力します。



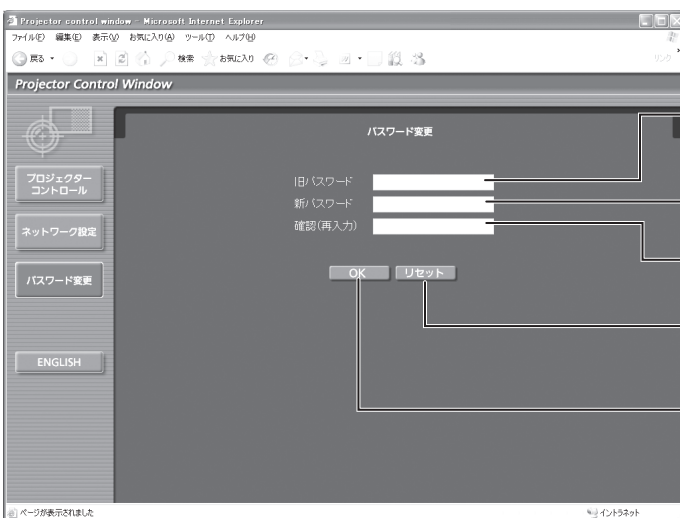
3. ユーザー名とパスワードを入力します。
 - 出荷時の設定は、ユーザー名: user1、パスワード: panasonic (小文字) です。



4. OK を押すと基本制御ページが表示されます。



- **パスワード変更ページ**
[パスワード変更] をクリックします。



- 旧パスワード入力欄
- 新パスワード入力欄
- 新パスワード (確認) 入力欄
- 入力した文字を全て消去するためのボタン
- パスワード変更の実行ボタン

お知らせ

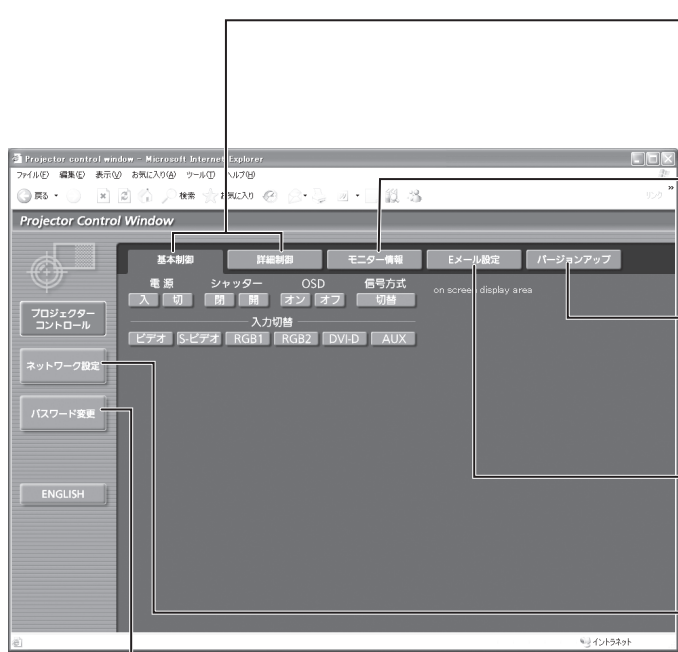
- Web ブラウザを同時に複数立ち上げて、設定や制御を行うのは避けてください。
- まず最初にパスワードの変更を行ってください。

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ 基本制御ページ

Web ブラウザからアクセスしたときの最初のページです。

他のページから移行するときは、[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。



コントロールボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの制御ページが表示されます。

モニター情報ボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

アップデートボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターのファームウェアのアップデートページが表示されます。

E-メール設定ボタン
この項目をクリックすると、E-メール設定ページが表示されます。

ネットワーク設定ボタン
この項目をクリックすると、IP アドレスなどのネットワーク設定ページが表示されます。

パスワード変更ボタン



電源の ON/OFF 操作

シャッターの操作

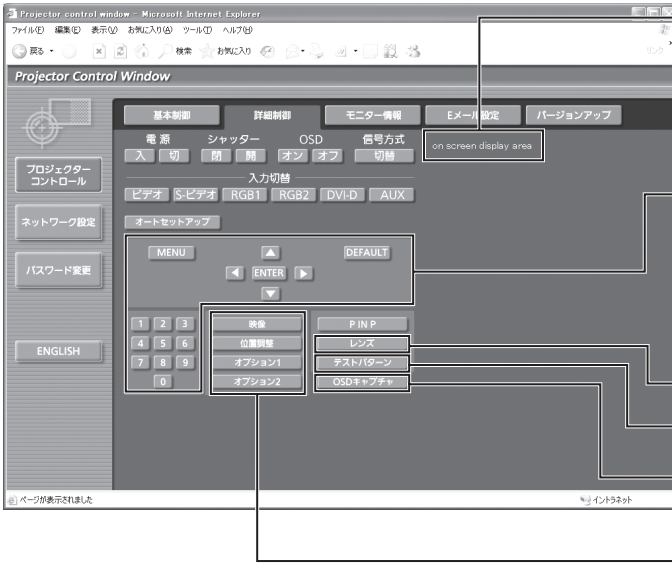
オンスクリーン表示 (OSD) の表示／非表示の切り換え

システム方式の切り換え

入力切り換え

■ 詳細制御ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。



オンスクリーン状態を表示します。プロジェクターのオンスクリーンがオフに設定されていても表示します。

リモコンのボタンと同じように各ボタンを押すことによりプロジェクターを制御します。制御後に制御ページ右側のオンスクリーンを更新します。

レンズの調整

テストパターンの表示

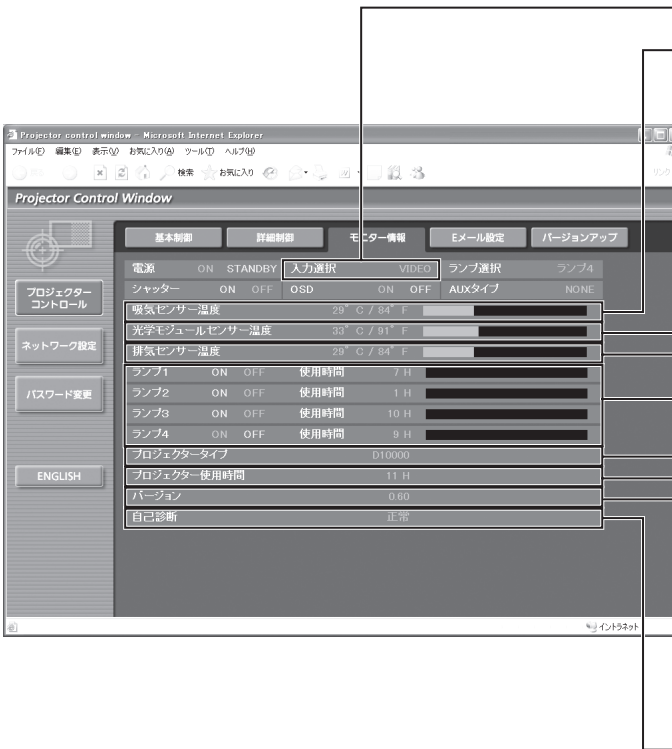
制御ページ右側のオンスクリーンを最新の状態に更新します。

各メニューの表示

■ モニター情報ページ

[プロジェクターコントロール] → [モニター情報] をクリックします。

以下の項目における本機の状態を表示します。



入力切り換えの状態を表示します。

プロジェクターの吸気温度状態を表示します。

プロジェクターの庫内温度状態を表示します。

プロジェクターの排気温度状態を表示します。

ランプの点灯時間を表示します。

プロジェクターの種類を表示します。

プロジェクターの稼働時間を表示します。

プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。

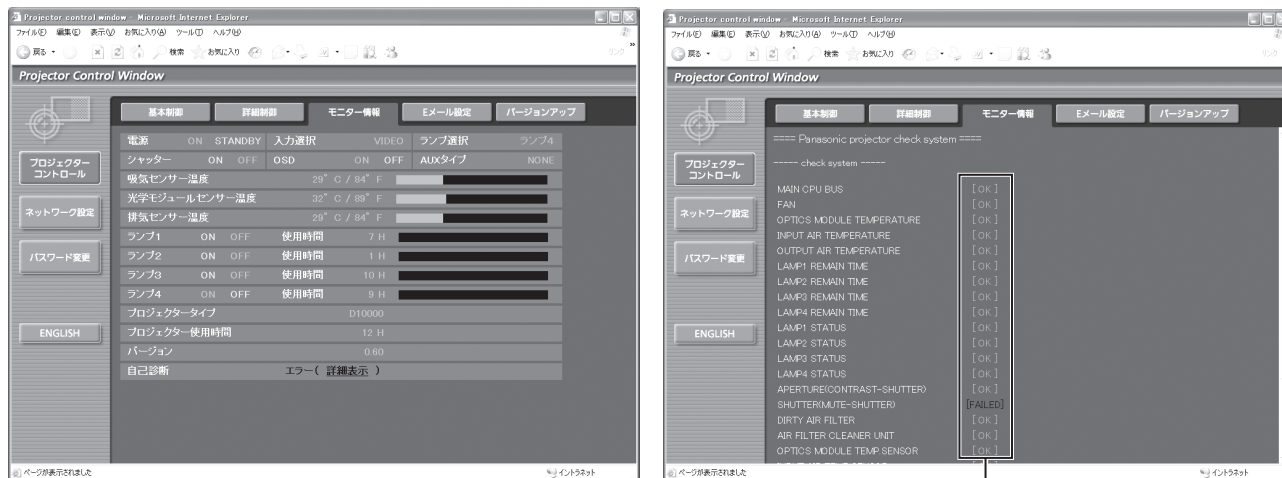
自己診断情報を表示します。

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ エラー情報ページ

モニター情報画面で **エラー（詳細表示）** が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



OK : 正常動作
FAILED : 異常発生

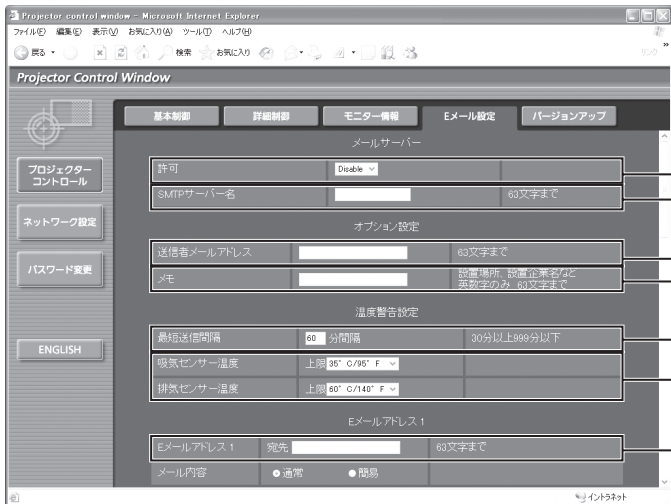
● [FAILED] と表示されたとき :

項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMPERATURE	本機内部の温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
INPUT AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
OUTPUT AIR TEMPERATURE	ランプ周辺の温度が高くなっています。 排気孔がふさがれている可能性があります。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の積算時間を越えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER)	コントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
SHUTTER (MUTE-SHUTTER)	シャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
DIRTY AIR FILTER	エアフィルターにほこりがたまり過ぎています。 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(108 ~ 109 ページ)
AIR FILTER CLEANER UNIT	エアフィルターユニットが装着されていません。エアフィルターユニットを装着してください。
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMP.SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
OUTPUT TEMP. SENSOR	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
AIRFLOW SENSOR	風量センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
AC POWER	AC 入力 of 電圧が低下しています。本機の消費電流に対し、余裕のある電気配線にしてください。
LENS SHIFT	レンズシフト回路に異常があります。販売店にご相談ください。

E-メール設定ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス（最大 2 箇所）にメールを送信することができます。

[プロジェクターコントロール] → [E メール設定] をクリックします。



E-メール機能を使用する場合は **Enable** を選択してください。

E-メールサーバ (SMTP) の IP アドレスかサーバ名を入力してください。サーバ名を入力する場合は DNS サーバの設定が必要です。

プロジェクターの E-メールアドレスを入力してください。(半角で 63 文字まで)

E-メールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。(半角で 63 文字まで)

温度警告メールの最少時間間隔を変更できます。初期値は 60 分です。この場合、温度警告メールを送信後 60 分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

送信する宛先の E-メールアドレスを入力してください。

E-メールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ 1 使用時間：

ランプ 1 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 2 使用時間：

ランプ 2 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 3 使用時間：

ランプ 3 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 4 使用時間：

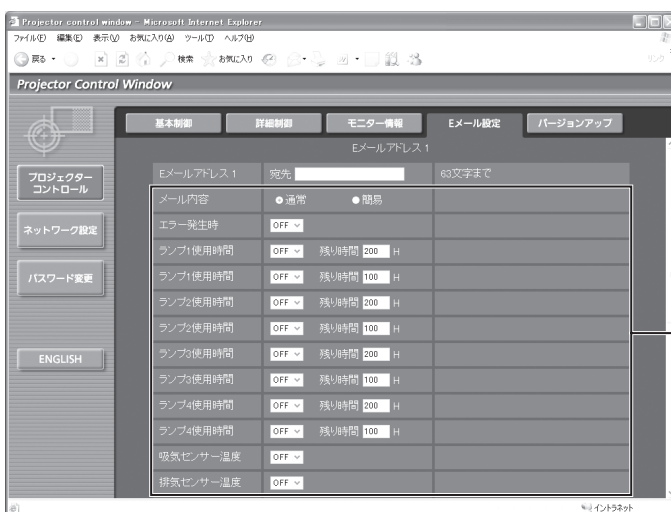
ランプ 4 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

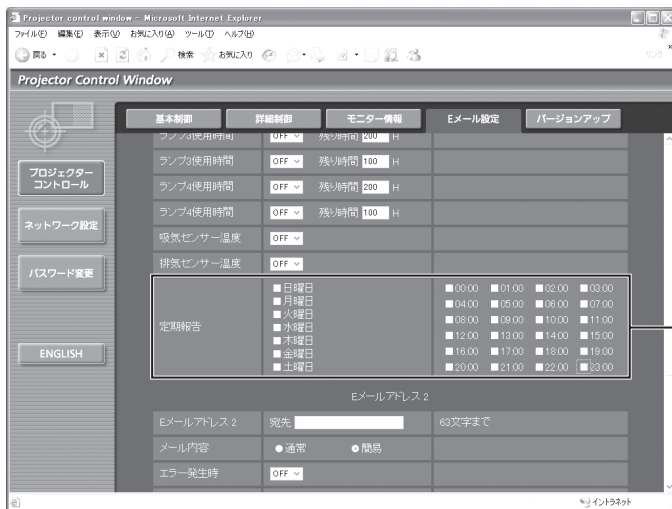
排気センサー温度：

排気温度が上欄に設定された値になった場合

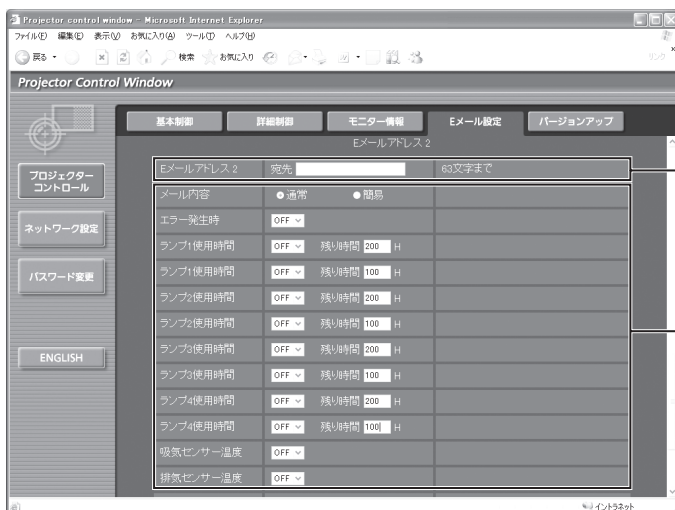


ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ E-メール設定ページ（つづき）



E-メールを定期的送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。



2つのE-メールアドレスを使う場合に、送信する宛先のE-メールアドレスを入力します。2つのE-メールアドレスを使わない場合は未記入にします。

2つ目のE-メールアドレスにE-メールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ1使用時間：

ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ2使用時間：

ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ3使用時間：

ランプ3の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ4使用時間：

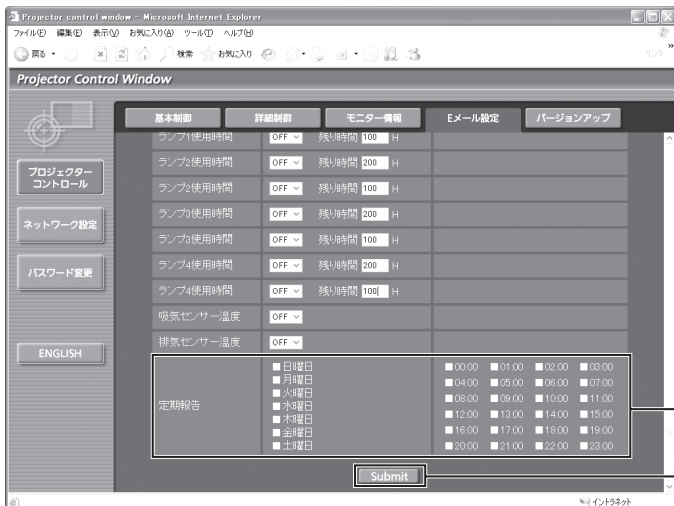
ランプ4の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

排気センサー温度：

排気温度が上欄に設定された値になった場合

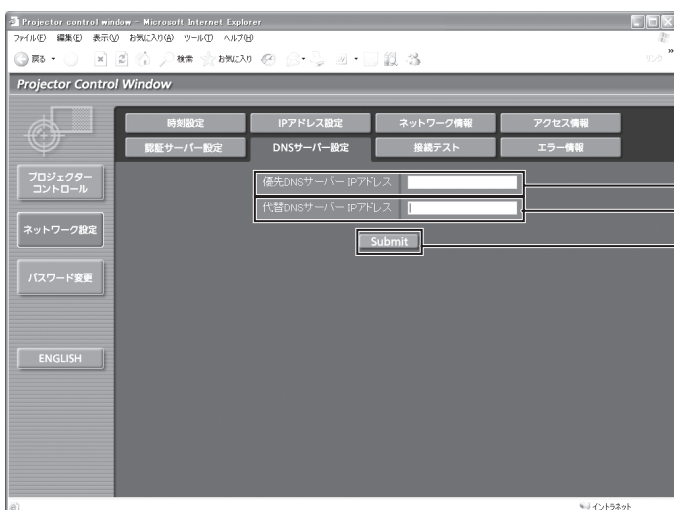


2つ目のE-メールアドレスにE-メールを定期的送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

全ての入力を終えたら、Submit ボタンを押します。

■ DNS サーバー設定ページ

[ネットワーク設定] → [DNS サーバー設定] をクリックします。



DNS サーバーアドレス (プライマリー) の入力
使用可能文字：
数字 (0-9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.253)。

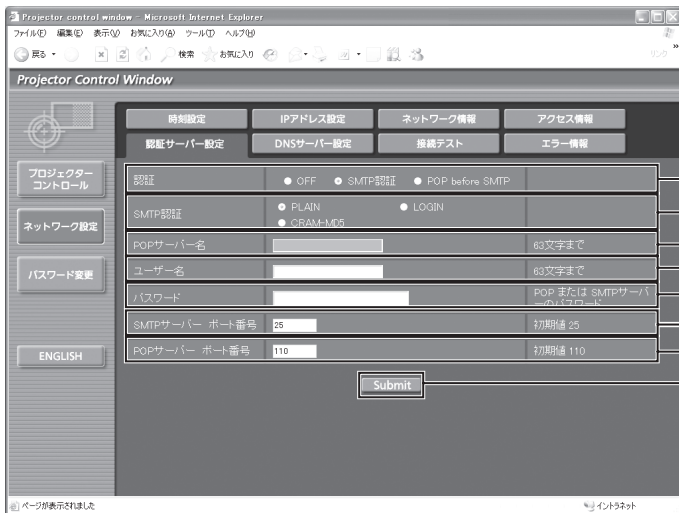
DNS サーバーアドレス (セカンダリー) の入力
使用可能文字：
数字 (0-9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.254)。

設定の更新ボタン

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ 認証サーバー設定ページ

メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
[ネットワーク設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。

SMTP 認証を選択した場合に設定します。

POP サーバー名の入力

使用可能文字：

英数字 (A-Z, a-z, 0-9)

マイナス記号 (-) ピリオド (.)

POP サーバーのユーザー名の入力

POP サーバーのパスワードの入力

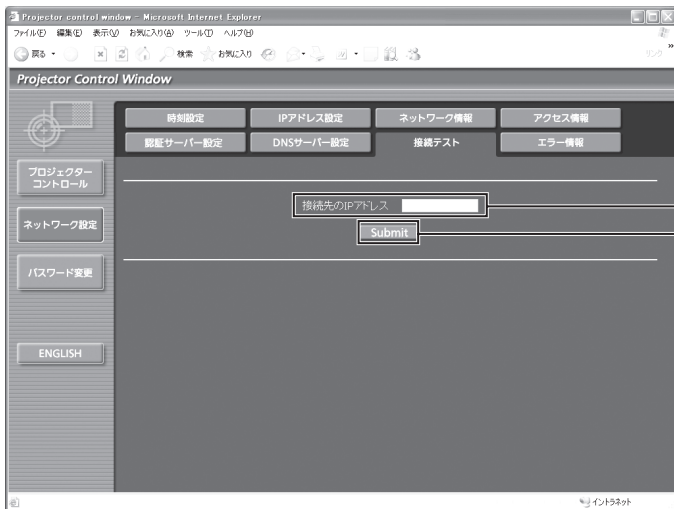
SMTP サーバーのポート番号の入力 (通常は 25 番です)

POP サーバーのポート番号の入力 (通常は 110 番です)

設定の更新ボタン

■ 接続テストページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
[ネットワーク設定] → [接続テスト] をクリックします。



テストするサーバーの IP アドレスの入力

テストの実行ボタン

```
PING 198.245.80.10 (198.245.80.10): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.7 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=3 ttl=255 time=0.4 ms
```

接続できた場合の表示

```
--- 198.245.80.10 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.4/0.4/0.7 ms
```

```
PING 198.245.80.100 (198.245.80.100): 56 data bytes
--- 198.245.80.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

接続できなかった場合の表示

■ 送信するメール内容

- E-メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```
Subject: Panasonic projector report(CONFIGURE)
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type      : D10000
----- E-mail setup data -----
TEMPRATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME       at [ 60] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE Over [ 35C / 95F ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE Over [ 60C / 140F ]

ERROR              [ OFF ]
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP3 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP3 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP4 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP4 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
INPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]

PERIODIC REPORT
Sunday [ OFF ] Monday [ OFF ] Tuesday [ OFF ] wednesday [ OFF ]
Thursday [ OFF ] Friday [ OFF ] Saturday [ OFF ]

00:00 [ OFF ] 01:00 [ OFF ] 02:00 [ OFF ] 03:00 [ OFF ]
04:00 [ OFF ] 05:00 [ OFF ] 06:00 [ OFF ] 07:00 [ OFF ]
08:00 [ OFF ] 09:00 [ OFF ] 10:00 [ OFF ] 11:00 [ OFF ]
12:00 [ OFF ] 13:00 [ OFF ] 14:00 [ OFF ] 15:00 [ OFF ]
16:00 [ OFF ] 17:00 [ OFF ] 18:00 [ OFF ] 19:00 [ OFF ]
20:00 [ OFF ] 21:00 [ OFF ] 22:00 [ OFF ] 23:00 [ OFF ]

----- check system -----
MAIN CPU BUS      [ OK ]
FAN               [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP3 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP4 REMAIN TIME [ OK ]
.
```

- エラーになったときはこのようなメールを発信します。

```
Subject: Panasonic projector report(ERROR)
=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type      : D10000
----- check system -----
MAIN CPU BUS      [ OK ]
FAN               [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP3 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP4 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP1 STATUS      [ FAILED ]
LAMP2 STATUS      [ OK ]
LAMP3 STATUS      [ OK ]
LAMP4 STATUS      [ OK ]
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]
SHUTTER(MUTE-SHUTTER) [ OK ]
DIRTY AIR FILTER  [ OK ]
AIR FILTER CLEANER UNIT [ OK ]
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR [ OK ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
OUTPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY           [ OK ]
AIRFLOW SENSOR    [ OK ]
AC POWER          [ OK ]
(Error code 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 00 00)
Input air temperature : 29 degC / 84 degF
Optics module temperature : 33 degC / 91 degF
Output air temperature : 29 degC / 84 degF
SET RUNTIME          17 H
POWER ON             9 times
LAMP1 ON             8 times
LAMP1 HIGH           11 H
LAMP2 ON             0 times
LAMP2 HIGH           0 H
LAMP3 ON             1 times
LAMP3 HIGH           1 H
LAMP4 ON             1 times
LAMP4 HIGH           0 H
LAMP1 REMAIN         1989 H
LAMP2 REMAIN         2000 H
LAMP3 REMAIN         1999 H
LAMP4 REMAIN         2000 H

----- Current status -----
MAIN VERSION         1.00
NETWORK VERSION      1.00

----- Network configuration -----
DHCP Client         OFF
IP address 192.168.0.8
MAC address 00:0B:97:41:E2:4E
wed Oct 11 18:21:44 2006

----- Memo -----
```


ネットワーク機能の使いかた（つづき）

時刻設定ページ

[ネットワーク設定] → [時刻設定] をクリックします。

タイムゾーンの選択
(日本は GMT + 09:00)

タイムゾーンの設定更新ボタン

変更する日にちの入力

日時設定の更新ボタン

変更する時間の入力

お知らせ

- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

IP アドレス設定ページ

[ネットワーク設定] → [IP アドレス設定] をクリックします。

DHCP クライアント機能を有効にする場合は ON にします。

DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。

ポート番号を入力します。通常は 80 のままで使用します。

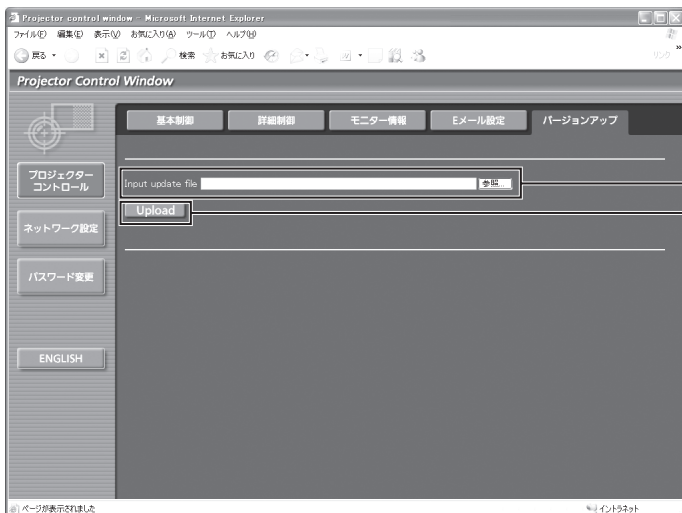
DHCP サーバーを利用しない場合は ネットマスクを入力します。

DHCP サーバーを利用しない場合は ゲートウェイアドレスを入力します。

プロジェクターの名前を入力します。DHCP サーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

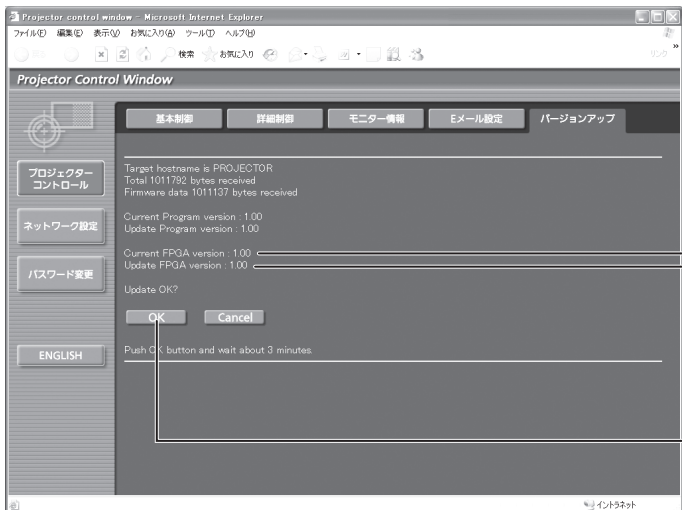
■ ファームウェアのアップデートページ

(ファームウェアのアップデートは、専門知識のある方以外は実施しないでください)



更新するファームウェアのファイル名を入力してください。

ファイル名の入力後 Upload ボタンを押してください。転送が始まります。転送に数十秒程度の時間がかかります。時間はネットワークの状況により異なります。

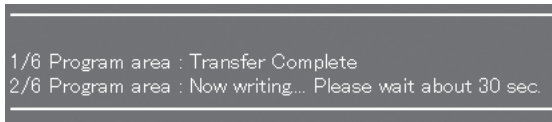
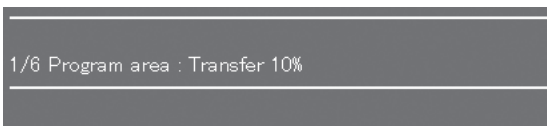


現在のバージョンを表示します。

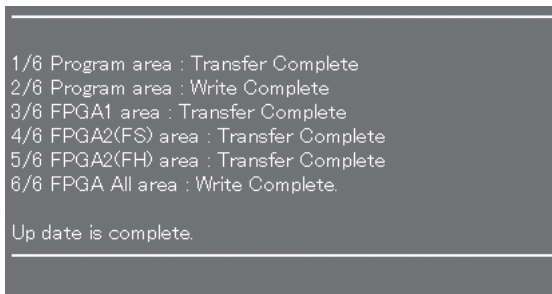
転送した更新するバージョンを表示します。

現在のバージョンと更新するバージョンを確認して間違い無ければ OK ボタンを押してください。書き換えが始まります。書き換え中は電源を切らないでください。

書き換え中はこのようなメッセージを表示します。



書き換えが終了するとこのメッセージを表示します。



PJLink™ プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink™ クラス 1 に対応しており、PJLink™ プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定
- プロジェクターの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink™ プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問合せ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11 = RGB1 12 = RGB2 21 = VIDEO 22 = S-VIDEO
INPT ?	入力切り換え問合せ	31 = DVI-D 32 = AUX (ET-MD77DV、ET-MD77SD1、ET-MD77SD3 のいずれかを装着時のみ有効)
AVMT	シャッター制御	パラメーター 30 = シャッターモード オフ (映像ミュート解除)
AVMT ?	シャッター状態問合せ	31 = シャッターモード オン (映像ミュート)
ERST?	エラー状態問合せ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: 0 固定 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問合せ	パラメーター 1 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 1 積算時間 2 つ目の数字: 0 = ランプ 1 消灯、1 = ランプ 1 点灯 3 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 2 積算時間 4 つ目の数字: 0 = ランプ 2 消灯、1 = ランプ 2 点灯 5 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 3 積算時間 6 つ目の数字: 0 = ランプ 3 消灯、1 = ランプ 1 点灯 7 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 4 積算時間 8 つ目の数字: 0 = ランプ 4 消灯、1 = ランプ 2 点灯
INST ?	入力切り換え一覧問合せ	パラメーターは下記の値を応答します “11 12 21 22 31” (ET-MD77DV、ET-MD77SD1、ET-MD77SD3 のいずれかを装着時は “11 12 21 22 31 32” を応答します)
NAME ?	プロジェクター名問合せ	「ネットワーク」の「ホストネーム」で設定した名称を応答します
INF1 ?	メーカー名問合せ	“Panasonic” と応答します
INF2 ?	機種名問合せ	“D10000” または “DW10000” と応答します
INFO ?	その他情報問合せ	バージョン番号などを応答します
CLSS ?	クラス情報問合せ	“1” と応答します

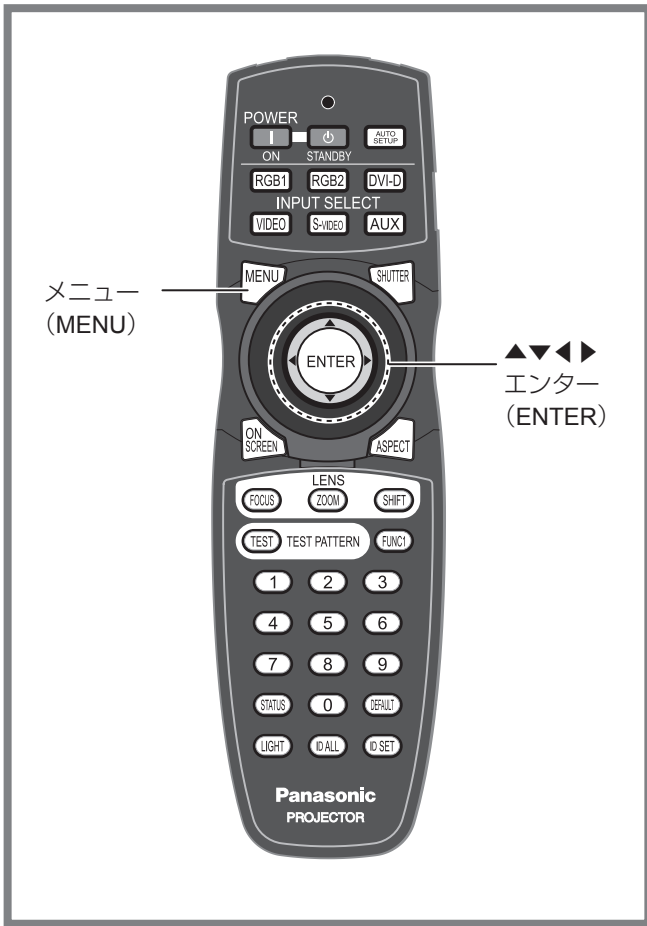
■ PJLink™ セキュリティ認証

PJLink™ で使用するパスワードは Web ブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。認証なしで使用する場合は、Web ブラウザコントロールのパスワードをなしに設定してください。

- PJLink™ は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。

PJLink™ に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

セキュリティの設定



セキュリティ画面を表示する

パスワード設定やテキスト設定は、セキュリティ画面を表示してから行ってください。

● 初めてご使用になる場合

1. ▲▶▼◀▶▼◀ ボタンを順に押す

● 以前パスワードを変更した場合

変更したパスワードを入力する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「セキュリティ」画面を表示します。

お知らせ

• パスワードを入力しても画面上では*印で表示されます。

本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社のURLなどを設定して表示させることができます。

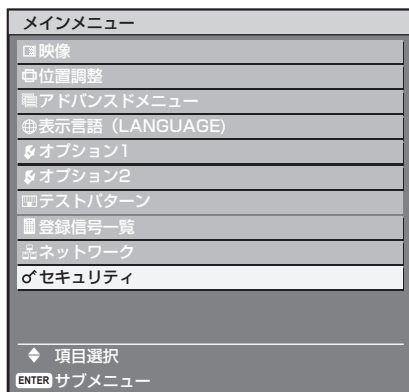


「メインメニュー」画面を表示する



「セキュリティ」を選択する

「パスワード」画面を表示する

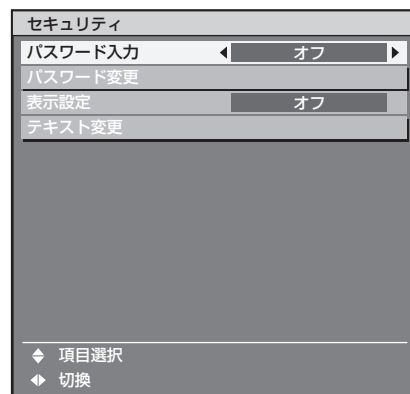


パスワードの設定

電源を入れたときに「パスワード」画面を表示させることができます。

正しくパスワードを入力しないと、電源スタンバイ (⏻) ボタン、レンズ調整以外の操作ができなくなります。

1. ▲▼ボタンで「パスワード入力」を選択する



セキュリティの設定 (つづき)

2. ◀▶ボタンで「パスワード入力」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

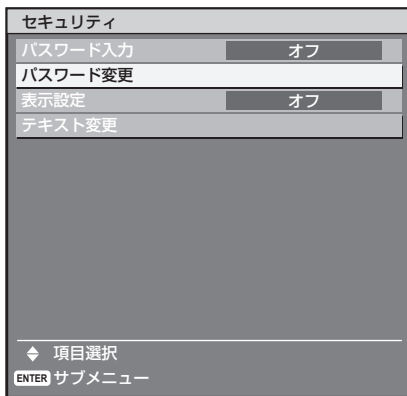


- オン:
パスワード入力を有効にします。
- オフ:
パスワード入力を無効にします。

パスワードの変更

パスワードを変更することができます。

1. ▲▼ボタンで「パスワード変更」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「パスワード入力」画面を表示します。



3. ▲▼◀▶ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタンを設定できます。

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

5. 確認のため、再度パスワードを入力する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

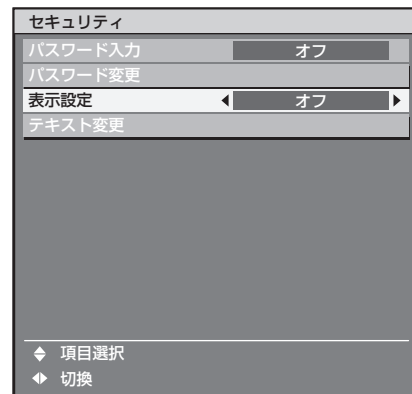
お知らせ

- パスワードを入力しても画面上では*印で表示されます。

表示の設定

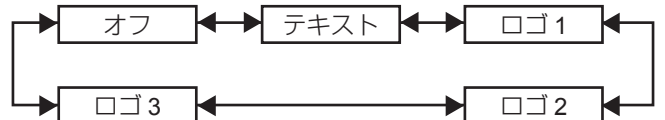
投写中の映像の下に、設定した文字を常時表示させることができます。

1. ▲▼ボタンで「表示設定」を選択する



2. ◀▶ボタンで「表示設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- オフ:
テキスト表示を無効にします。
- テキスト:
テキスト表示を有効にします。
- ロゴ 1:
ユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ 2:
ユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ 3:
Panasonic ロゴを表示します。

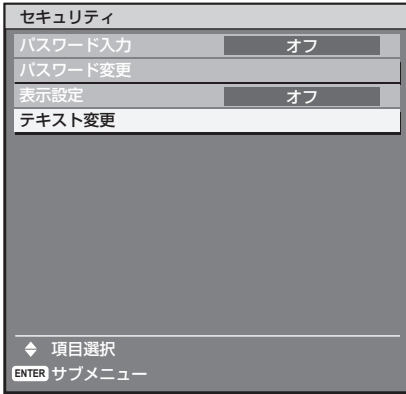
お知らせ

- 「ロゴ 1」と「ロゴ 2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

テキストの変更

表示設定を「オン」にしたときに表示される文字を変更することができます。

1. ▲▼ボタンで「テキスト変更」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「テキスト変更」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで位置を選択し、▲▼ボタンで文字を選択する
4. エンター (ENTER) ボタンを押す
 - テキストが変更されます。

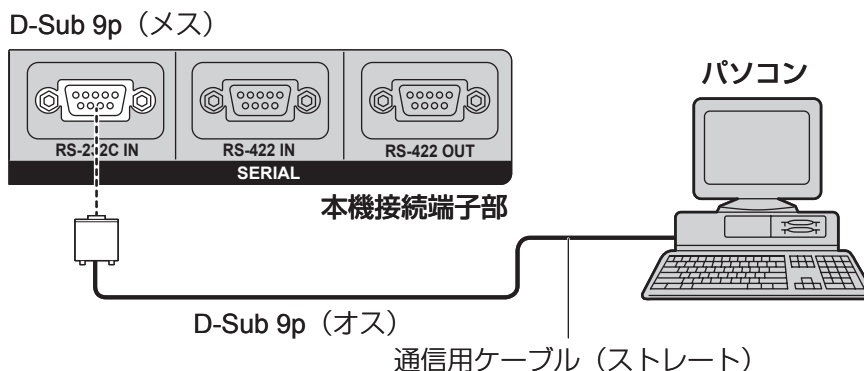
シリアル端子を使う

本体接続端子部のシリアル（SERIAL）端子はRS-232C/RS-422 準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。シリアル出力端子を設けていますので本体の複数制御が可能です。

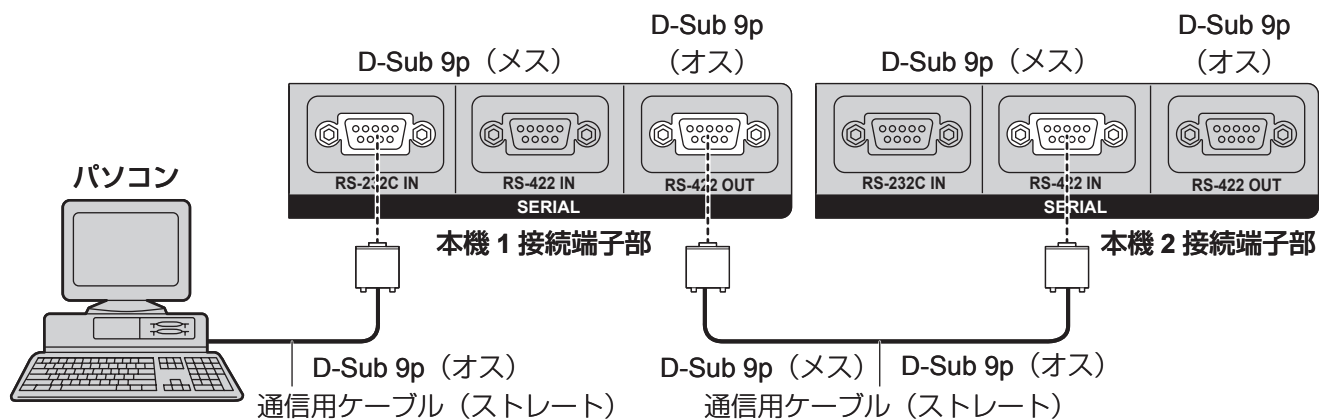
接続例

■ RS-232C の場合

● 1 台の場合



● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名

ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グラウンド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	
⑨		NC

D-Sub 9p(メス)
外側から見た図

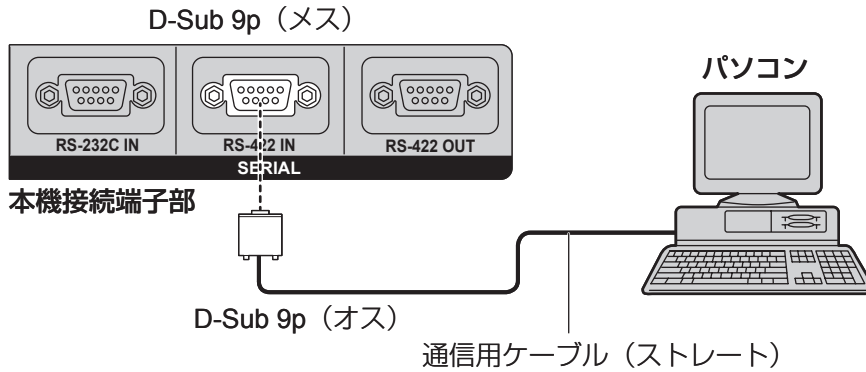
シリアル入力端子

■ 通信条件（工場出荷設定）

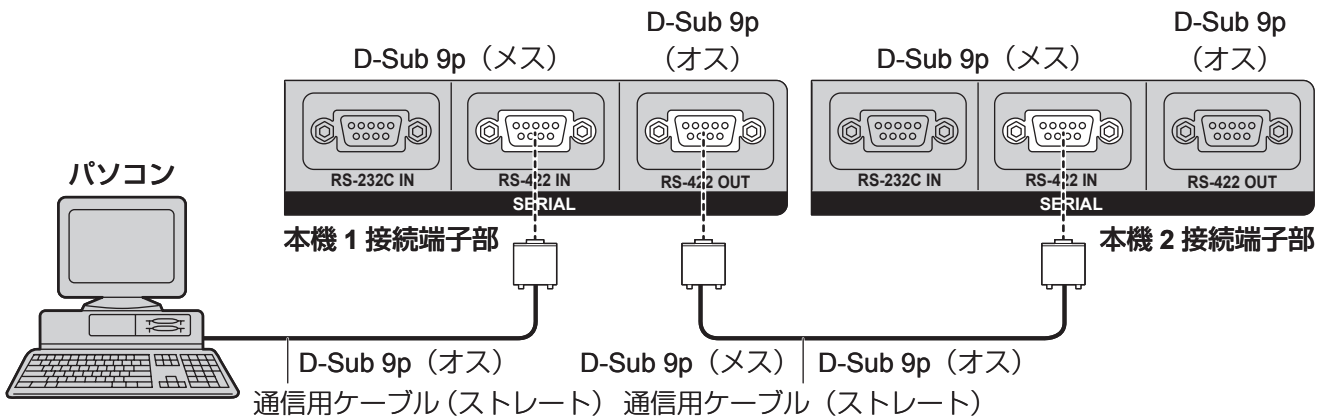
信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

■ RS-422 の場合

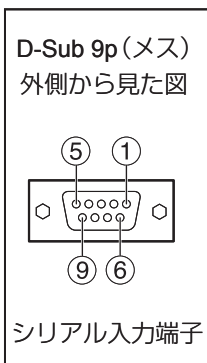
● 1 台の場合



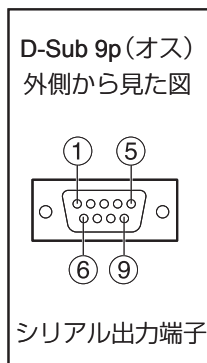
● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名



ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	TXD(-)	データ送信端子 (-)
③	RXD(+)	データ受信端子 (+)
④		内部で接続されています
⑤		NC
⑥		内部で接続されています
⑦	TXD(+)	データ送信端子 (+)
⑧	RXD(-)	データ受信端子 (-)
⑨	FG	GND



ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	RXD(-)	データ受信端子 (-)
③	TXD(+)	データ送信端子 (+)
④		内部で接続されています
⑤		NC
⑥		内部で接続されています
⑦	RXD(+)	データ受信端子 (+)
⑧	TXD(-)	データ送信端子 (-)
⑨	FG	GND

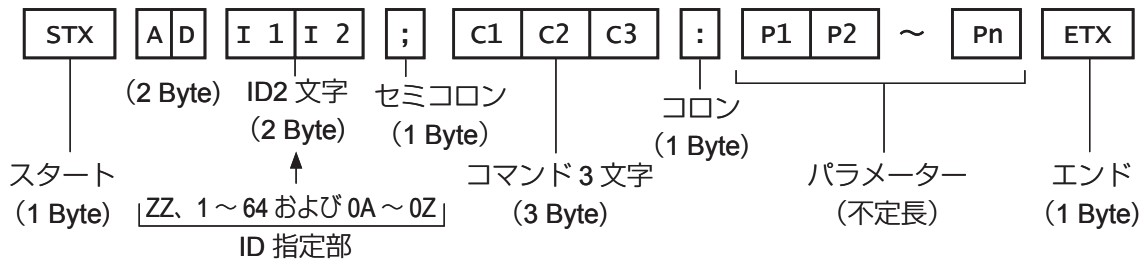
■ 通信条件 (工場出荷設定)

信号レベル	RS-422 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

シリアル端子を使う (つづき)

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い

- ランプ点灯開始時、約 10 ~ 60 秒間はコマンドを送受信できませんので、10 ~ 60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から “ER401” または “ER402” というステータスがパソコン側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ (オール) と 1 から 64 および 0A ~ 0Z のグループの対応になっています。
- STX のキャラクターコードは 02、ETX のキャラクターコードは 03 です。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみパソコンへの応答を返します。
 - 本機 ID と一致した場合
 - ID 指定がオールかつ VPS-システムがマスターの場合
 - ID 指定がグループかつグループがマスターの場合

制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 • ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。
POF	電源「切」	
IIS	入力切り換え	パラメーター VID = VIDEO SVD = S-VIDEO DVI = DVI-D RG1 = RGB1 RG2 = RGB2 AUX = AUX
QSL	使用ランプモード 問い合わせ	パラメーター 0 = クワッド 1 = L1/L4 2 = L2/L3 3 = デュアル 4 = L1/L2/L3 5 = L1/L2/L4 6 = L1/L3/L4 7 = L2/L3/L4 8 = トリプル 9 = L1 10 = L2 11 = L3 12 = L4 13 = シングル
LPM	使用ランプモード	パラメーター 0 = クワッド 1 = L1/L4 2 = L2/L3 3 = デュアル 4 = L1/L2/L3 5 = L1/L2/L4 6 = L1/L3/L4 7 = L2/L3/L4 8 = トリプル 9 = L1 10 = L2 11 = L3 12 = L4 13 = シングル

お知らせ

- 詳しいコマンドリストが必要な場合は、販売店にご相談ください。

ケーブル仕様

■ パソコンと接続する場合

● RS-232C の場合

本機側		パソコン側 (DTE仕様)	
1	NC	NC	1
2			2
3			3
4	NC	NC	4
5			5
6	NC	NC	6
7			7
8			8
9	NC	NC	9

■ 本機を複数台接続する場合

1台目 (RS-422 OUT)	2台目 (RS-422 IN)
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

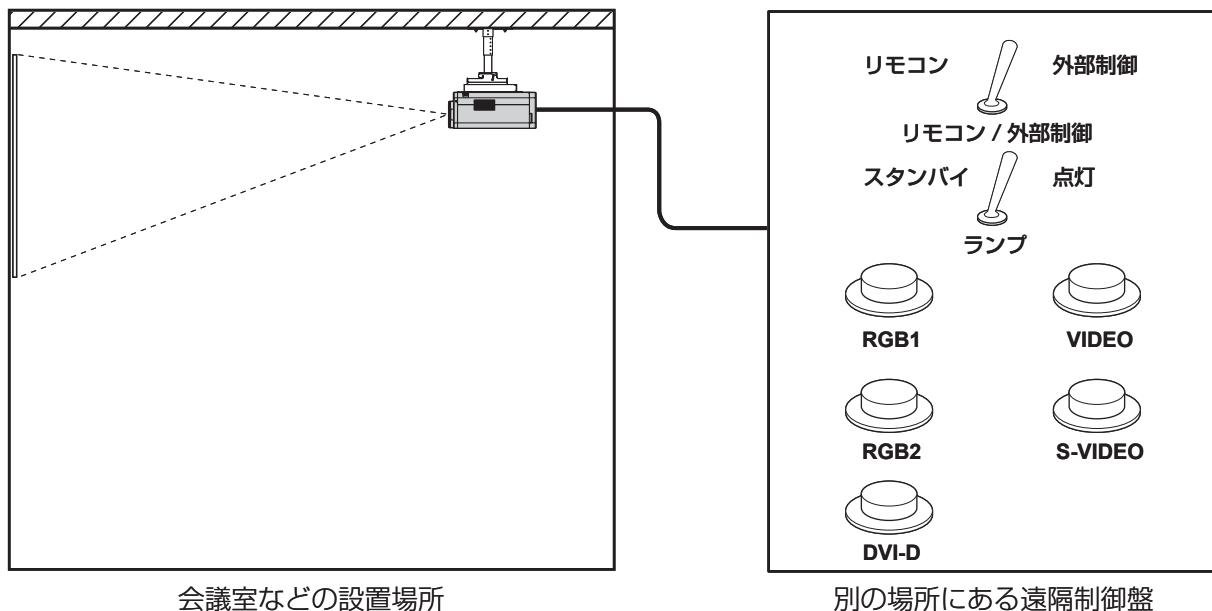
お願い

- シリアル (SERIAL) 端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

リモート 2 端子を使う

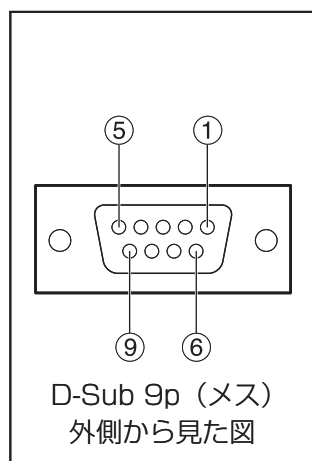
本体接続端子部のリモート 2 (REMOTE 2) 端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

設置例



ピン配列と制御内容について

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。



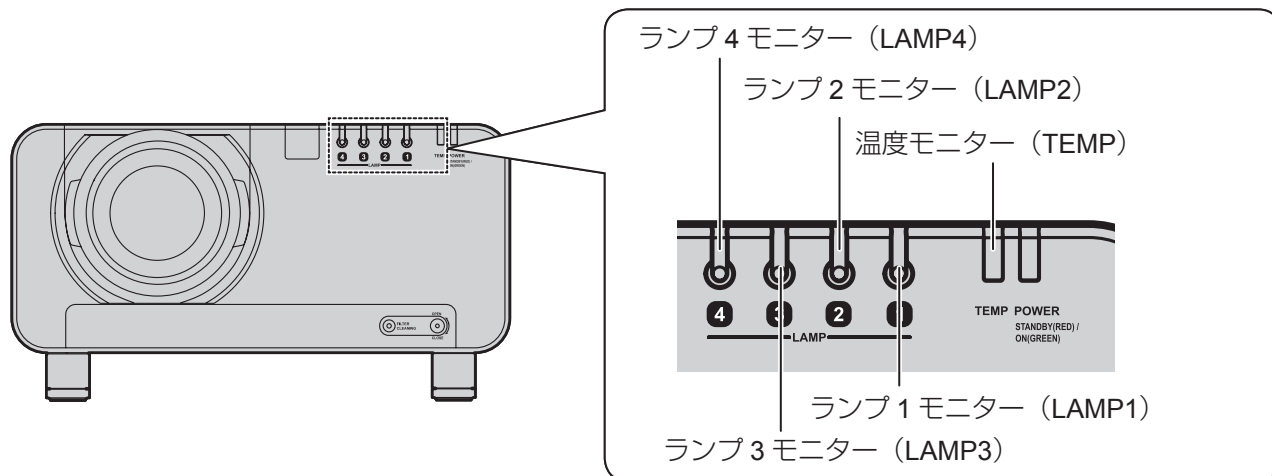
	端子名称	オープン (H)	ショート (L)
①	GND		GND
②	POWER	OFF	ON
③	RGB1	その他	RGB1
④	RGB2	その他	RGB2
⑤	VIDEO	その他	VIDEO
⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
⑦	DVI-D	その他	DVI-D
⑧	SHUTTER	OFF	ON
⑨	RST / SET	リモコン制御	外部接点制御

お知らせ

- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源 (POWER) ボタン、シャッター (SHUTTER) ボタン
またこれらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ①番、⑨番ピンを短絡させて、さらに③～⑦番ピンのいずれかと①番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源 (POWER) ボタン、入力切り換え (RGB1、RGB2、DVI-D、AUX、VIDEO、S-VIDEO) ボタン、シャッター (SHUTTER) ボタン
また、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。

モニターランプの表示について

本体前面上部には、ランプの交換時期、内部温度の異常を知らせる 5 つのモニターランプがついています。これらのランプは異常等を点滅や点灯で表示します。電源を切り下記の処置をしてください。



モニターランプ名	ランプ表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
温度モニター	赤色点灯	ウォームアップ状態	<ul style="list-style-type: none"> 気温が低い (0℃付近) 状態で電源を「入」にしましたか 	<ul style="list-style-type: none"> このままの状態ですら 5 分ほどお待ちください。 周囲温度 0℃～45℃ の場所に設置してください。
	赤色点滅 (2回)	内部が高温になっている (警告)	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔がふさがれていませんか 気温の高い所で使用していませんか エアフィルターにほこりがたまっていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 周囲温度 0℃～45℃、周囲湿度 20%～80% (非結露) の場所に設置してください。 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(108～109 ページ)
	赤色点滅 (3回)	ファンが止まっている		<ul style="list-style-type: none"> 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。
ランプモニター	赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れたときに「ランプ交換」という表示が出ませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> ランプユニットの使用時間が 1 800 時間に達すると点灯します。ランプユニットの交換を販売店にご依頼ください。
	赤色点滅 (3回)	ランプ回路の異常を検知している	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか ランプ回路に異常が発生しています 電源電圧が変動 (低下) していませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お願い

- 温度モニター (TEMP) ランプ、ランプモニター (LAMP) ランプの表示により処置を行うときの電源操作は「電源を入れる」(36 ページ) と「電源の切りかた」(37 ページ) の手順を必ずお守りください。

エアークリーナーの清掃と交換

エアークリーナーにほこりがたまり過ぎると、本体内部温度が高温になり、温度モニター（TEMP）ランプが点滅し、電源が切れます。使用場所により異なりますが、静電メッシュフィルターの交換とフィルターユニット内の金属メッシュフィルターやブラシの清掃は約 2 000 時間を目安に行ってください。

清掃手順

1. 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

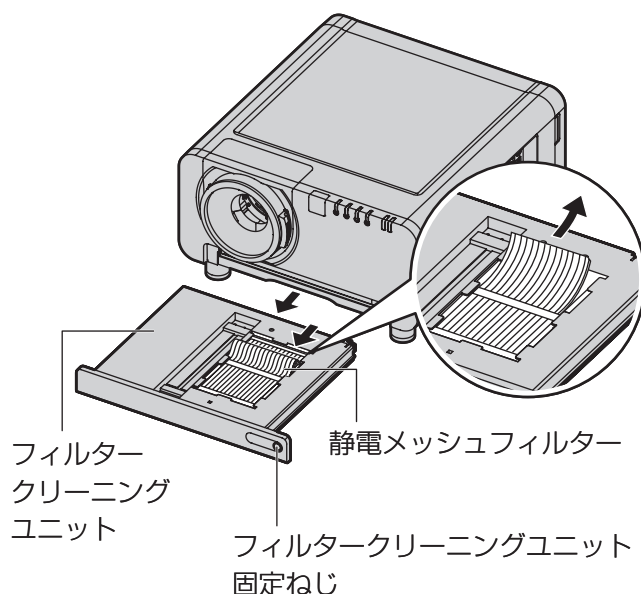
- 37 ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

2. 本体前面のフィルタークリーニングユニット固定ねじ（1 本）をプラスドライバーで緩める

- エアークリーナーの底部に手を入れ、手前へ引っ張りながらフィルタークリーニングユニットを本体から外します。

3. フィルタークリーニングユニットから静電メッシュフィルターを取り出す

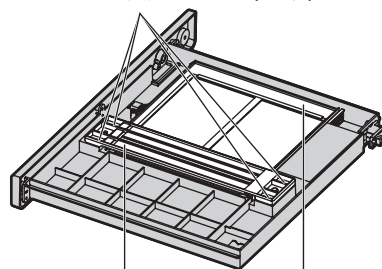
- 静電メッシュフィルターを引っ掛けるようにして引き出してください。



4. フィルタークリーニングユニットを裏返して置く

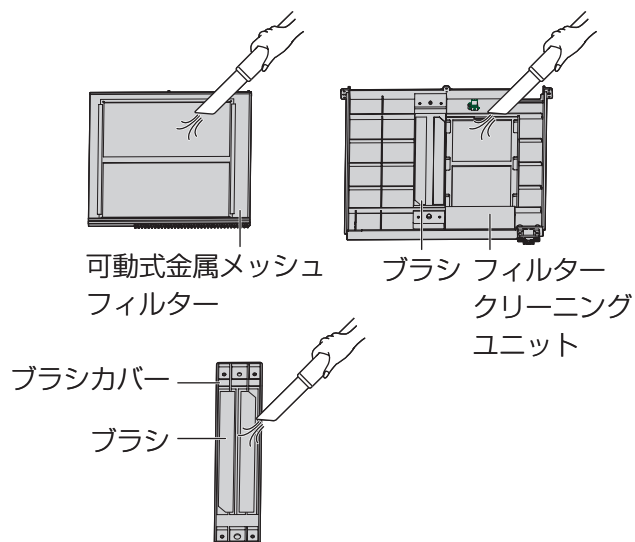
5. ブラシカバー固定ビス（4 本）を取り外して、ブラシカバーと可動式金属メッシュフィルターをフィルタークリーニングユニットから取り外す

ブラシカバー固定ビス（4 本）



6. フィルタークリーニングユニット、ブラシ、可動式金属メッシュフィルターを掃除する

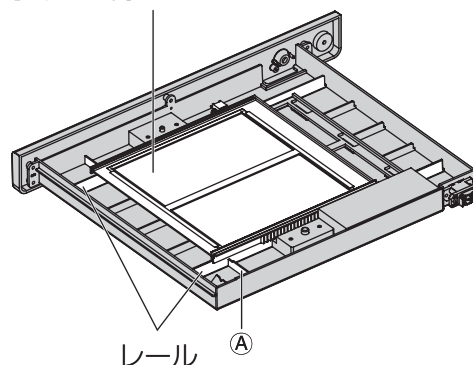
- たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



7. 可動式金属メッシュフィルターをフィルタークリーニングユニットに取り付ける

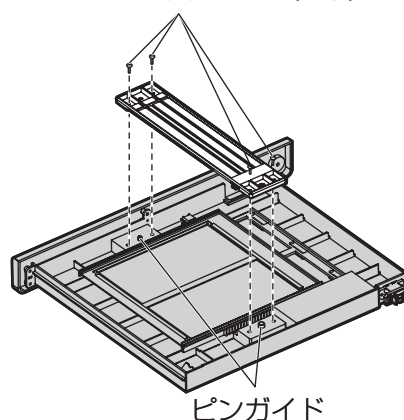
- 組み立てる時に、可動式金属メッシュフィルターの端を ① の位置に合わせてください。
- 可動式金属メッシュフィルターをギアとレールにはめ込みます。
- 可動式金属メッシュフィルターはセット装着後電源 ON 時に所定の位置にセットされますので、組立時は中間位置にセットしても問題ありません。

可動式金属メッシュフィルター



8. ブラシカバーを位置決めピンガイドに沿って取り付け、ブラシカバー固定ビス (4 本) を固定する

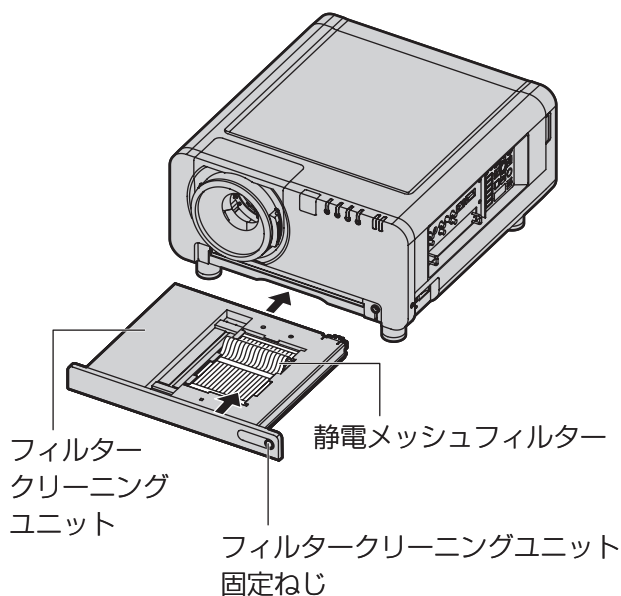
ブラシカバー固定ビス (4 本)



9. 新しい静電メッシュフィルターをフィルタークリーニングユニットに取り付ける

10. フィルタークリーニングユニットを本体に入れ、フィルタークリーニングユニット固定ねじ (1 本) をプラスドライバーでしっかり締めつける

- エアフィルターをセットして、手順 2 と逆の方法でフィルタークリーニングユニットを取り付けます。



お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ

- 掃除をしてもほこりが取れなくなったら静電メッシュフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせて静電メッシュフィルターも交換ください。
- 静電メッシュフィルターは水洗いしないでください。
- 可動式金属メッシュフィルターの油汚れは中性洗剤で洗ってください。中性洗剤はきれいに洗い流してください。

ランプユニットの交換

警告



ランプユニットの交換は、ランプが十分に冷えてから行ってください。ランプユニットは必ず4ユニット全て装着してください。



ランプ交換の際は、指定のねじ以外（黒いねじなど）は外さないでください。

感電・やけど・ケガの原因となります。

ランプユニット交換上のお願ひ

- 光源ランプは内部気圧が高く、硬い物に当てたり、落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱くと破裂する場合があります。処分は産業廃棄物処理業者にご依頼ください。
- 交換時期を超えたランプを使用し続けると、ランプが破裂する場合があります。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

お願ひ

- ランプユニットは別売部品です。販売店にご相談ください。（サービス部品扱い）
交換用ランプユニット品番： ET-LAD10000（1灯） ET-LAD1000F（4灯）
定格 250 W
- 上記以外のランプを使用することはできません。必ず指定のランプを使用してください。

ランプユニットの交換時期

光源として使用しているランプには、寿命があります。本体に使用している光源ランプの寿命は2000時間（ランプ選択…クワッド設定時）ですが、ランプ個々の特性や使用条件（ランプは点灯回数や再点灯までの間隔等の影響を受け寿命を低下させる恐れがあります）により、2000時間前に点灯しなくなる場合がありますので、交換用ランプの準備をおすすめします。

2000時間を過ぎてもランプユニットが交換されない場合は自動的にランプを消灯します。全てのランプの使用時間が2000時間以上になると、電源を入れても約10分間で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

お願ひ

- ランプ交換の際に、エアフィルター清掃と交換も行ってください。（108～109ページ）

■ 1800時間以降の表示

ランプユニットの使用時間が1800時間に達するとランプモニター（LAMP1、LAMP2、LAMP3、またはLAMP4）が、スタンバイ状態も含めて点灯します。また、右図のようなランプユニットの交換を促すオンスクリーンを約30秒表示します。（右図の表示は約30秒経過または本体操作ボタン、リモコンのボタンのいずれかを操作すると消えます。）

このオンスクリーン表示は2000時間に達すると、以降はメニュー（MENU）ボタンなどを操作しない限り消えません。

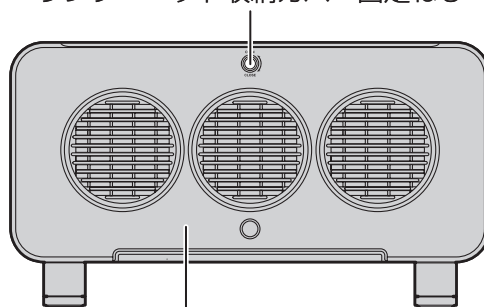
ランプ交換

ランプユニットの交換手順

1. 「電源を入れる」(36 ページ) と「電源の切りかた」(37 ページ) の手順を守り、主電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット周辺が冷えていることを確認する

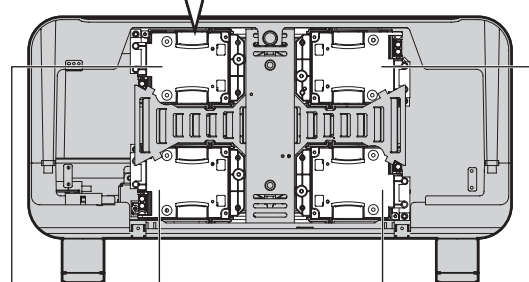
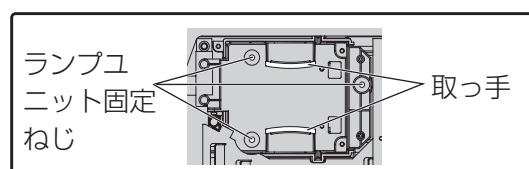
2. 本体後面のランプユニット収納カバー固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで緩める
3. ランプユニット収納カバーを本機から開く

ランプユニット収納カバー固定ねじ



ランプユニット収納カバー

4. 取り換えたいランプユニットの固定ねじ (各 3 本) をプラスドライバーで空回りするまで回す
ランプユニットの取っ手を持って、ゆっくりと本機から引き出す



ランプユニット 1 ランプユニット 2 ランプユニット 3 ランプユニット 4

⚠️ 注意



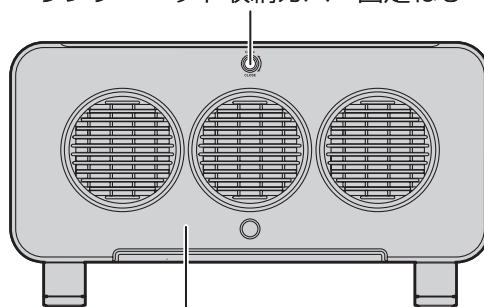
使用直後のランプユニットおよびランプユニット周辺の構造物は高温なので注意する
触るとやけどの原因になります。

5. 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む
6. ランプユニット固定ねじ (各 3 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
7. ランプユニット収納カバーを閉め、ランプユニット収納カバー固定ねじ (1 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける

お願い

- ランプユニットやランプユニット収納カバーは確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納カバーの取り付けが不完全だと保護回路が動作し電源が入りません。

ランプユニット収納カバー固定ねじ



ランプユニット収納カバー

天つり金具取り付け時の注意事項

本製品に天つり金具を取り付けてご使用になる場合は、付属のアイボルトとワイヤーロープをプロジェクター本体に取り付けてご使用ください。

(安全性には問題ありませんが、ねじが緩んでいた場合に起きる落下などの不慮の事故を防止することができます。)

工事は専門技術者に依頼し、下記の取り付け手順に従ってください。

- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼の上、速やかに撤去してください。

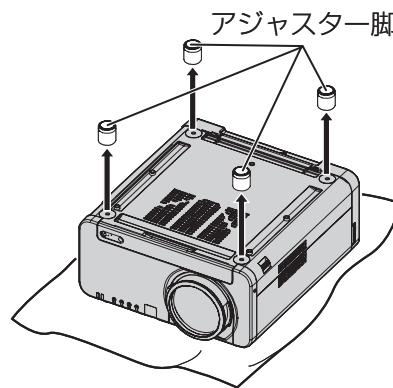
お願い

- 必ず付属のアイボルトとワイヤーロープをご使用ください。

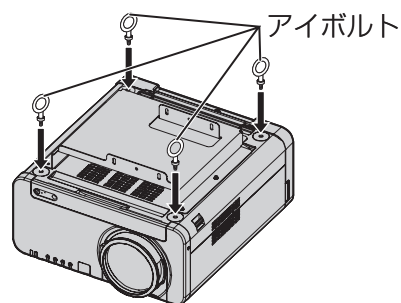
取り付け手順

1. 柔らかい布などの上に、プロジェクター本体の底面を上にして置く
2. アジャスター脚 (4 本) を左に回して、本体から取り外す

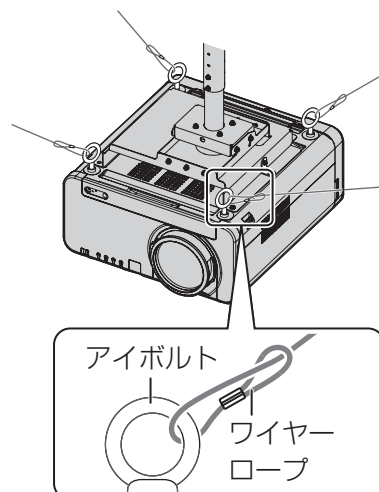
取り外したアジャスター脚は、元に戻すときに使用しますので、大切に保管してください。



3. アイボルト (4 本) を右に回して、本体に取り付ける



4. アイボルト (4 本) にそれぞれワイヤーロープ (4 本) を取り付ける
5. アイボルトと天井間に、付属のワイヤーロープ (4 本) を 4 方向から張る



修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない	• 電源変換コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	35
	• 主電源 (MAIN POWER) スイッチが「○」側になっていませんか。	36、37
	• コンセントに電源がきていますか。	35
	• 本機前面の温度モニター (TEMP) ランプが点灯または点滅していませんか。	107
	• 本機前面のランプモニター (LAMP) ランプが点灯または点滅していませんか。	107
	• ランプユニット収納カバーは完全に取り付けられていますか。	111
	• ID 設定の操作を間違えていませんか。	18、76
	• ランプユニットを4個とも装着していますか。	110、111
映像が出ない	• 映像入力は正しく接続されていますか。	26
	• 入力切り換えの設定が正しくなっていますか。	44、55
	• 本機に接続している機器は正常に動作していますか。	—
	• シャッター機能を使用していませんか。	44
映像がボヤけている	• レンズのフォーカスは合っていますか。	38
	• 投写距離は適切ですか。	22、23
	• レンズが汚れていませんか。	—
	• 本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。	21
色が薄い／色あいが悪い	• 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	51、52
	• 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
リモコンが働かない	• 乾電池が消耗していませんか。	—
	• 極性は正しくセットされていますか。	17
	• リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	17
	• リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	17
	• リモート2 (REMOTE2) 端子を使って外部制御を行っていませんか。	106
	• 外光などの影響を受けていませんか。	—
	• ID 設定の操作を間違えていませんか。	18、76
	• リモコンのロック (LOCK) ボタンがロック側になっていませんか。	13
	• 調整値プロテクトが有効になっていませんか。▼+▼+エンター (ENTER) +▼+▼+エンター (ENTER) ボタンを押して解除してください。	—
正常な映像が映らない	• 入力切り換えが正しく行われていますか。	44、55
	• 信号方式の選択は正しく行われていますか。	55
	• ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。	—
	• 本機が対応できない信号を入力していませんか。	118～119
パソコンからの映像が映らない	• ケーブルが長過ぎませんか。	—
	• ノートパソコンの映像信号出力先が正しく設定されていますか。	—
	• [Fn] + [F3] キーで設定します。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください)	—
パソコンの DVI-D 出力 グラフィックボードの映像が 映らない	• EDID の設定が EDID2(PC) になっていますか。	—
	• グラフィックボードのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。	—

自己診断表示について

本機側面（15 ページ）には、エラーが起きた場合に自動的にエラー内容を表示する自己診断表示がっています。

自己診断表示	内容	対応
U04	エアークフィルターの目詰まり	• エアークフィルターユニットの清掃をしてください。
U11	吸気温度警告	• 周囲温度が高すぎます。
U12	光学モジュール温度警告	
U13	ランプ周辺温度警告	
U14	温度低温警告	
U21	吸気温度エラー	
U22	光学モジュール温度エラー	
U23	ランプ周辺温度エラー	
U24	低温エラー	
U41	ランプ 1 使用時間警告	• ランプの交換時期になりました。ランプを交換してください。
U42	ランプ 2 使用時間警告	
U43	ランプ 3 使用時間警告	
U44	ランプ 4 使用時間警告	
U51	ランプ 1 エラー	• ランプの点灯に失敗しました。ランプが冷えてから再び電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
U52	ランプ 2 エラー	
U53	ランプ 3 エラー	
U54	ランプ 4 エラー	
U61	ランプ 1 使用時間 2 000 時間経過	• ランプの交換時期を越えています。直ちに交換してください。
U62	ランプ 2 使用時間 2 000 時間経過	
U63	ランプ 3 使用時間 2 000 時間経過	
U64	ランプ 4 使用時間 2 000 時間経過	
U70	エアークフィルターユニット未装着	• エアークフィルターユニットを装着してください。
U71	ランプ 1 未装着	• ランプを装着してください。
U72	ランプ 2 未装着	
U73	ランプ 3 未装着	
U74	ランプ 4 未装着	
U81	AC 電圧低下警告 (90 V 未満)	• AC 入力電圧が低下しています。本機の消費電流に対し余裕のある電気配線にしてください。
U91	ランプ収納カバーが閉じていない	• ランプユニット収納カバーを閉じてください。
H01	内部時計用電池交換	• 電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
H11	吸気温度センサー抜け	• 主電源を入れなおしても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。
H12	光学モジュール温度センサー抜け	
H13	ランプ周辺温度センサー抜け	
H18	風量センサー抜け	
F11	シャッターエラー	
F12	ダイナミックアイリスエラー	
F13	エアークフィルターユニットエラー	
F21	DC2.5 V エラー	
F22	DC3.3 V エラー	
F23	DC5.0 V エラー	

自己診断表示	内容	対応
F41	ランプ1メモリエラー	<ul style="list-style-type: none"> ランプが故障しています。販売店にご相談ください。
F42	ランプ2メモリエラー	
F43	ランプ3メモリエラー	
F44	ランプ4メモリエラー	
F91	FPGA1 コンフィグエラー	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を入れなおしても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。
F92	FPGA2 コンフィグエラー	
F93	FLASH ROM エラー	
F94	RAM エラー	
F95	FPGA 展開エラー	
F96	レンズシフトエラー	
FE1	電源ファンエラー	
FE2	ランプ1ファンエラー	
FE3	ランプ2ファンエラー	
FE4	ランプ3ファンエラー	
FE5	ランプ4ファンエラー	
FE6	バラスト回路1ファンエラー	
FE7	バラスト回路3ファンエラー	
FE8	ラジエターファンエラー	
FE9	中央排気ファンエラー	
FF0	左排気ファンエラー	
FF1	右排気ファンエラー	
FF2	赤色 DMD 冷却ファンエラー	
FF3	緑色 DMD 冷却ファンエラー	
FF4	青色 DMD 冷却ファンエラー	
FF5	カラープリズムファンエラー	
FF6	ランププリズムファンエラー	
FF7	バラスト回路2ファンエラー	
FF8	バラスト回路4ファンエラー	
FP1	ランプ1 PFC エラー	
FP2	ランプ2 PFC エラー	
FP3	ランプ3 PFC エラー	
FP4	ランプ4 PFC エラー	

仕様

品番		TH-D10000	TH-DW10000
使用電源		AC 100 V 15A / AC 200 V 7.5 A 50 Hz/60Hz	
消費電力		1 450 W (スタンバイ時約 25 W)	
DLP® パネル	パネルサイズ	0.95 型 (アスペクト比 4:3)	0.95 型 (アスペクト比 16:9)
	表示方式	DMD® チップ 3 枚 DLP® 方式	
	画素数	1 470 000 画素 (1 400×1 050 ドット) × 3 枚	2 073 600 画素 (1 920 × 1 080 ドット) × 3 枚
レンズ (電動ズーム / 電動フォーカス)		オプション	
光源ランプ		250 W UHM ランプ× 4 灯	
光出力		10 000 lm	
対応 走査 周波数	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.73 kHz / 15.63 kHz 垂直 59.94 Hz / 50 Hz	
	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 100 kHz 垂直 24 Hz ~ 120 Hz PIAS (Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式 ドットクロック周波数 20 MHz ~ 162 MHz	
	DVI-D 信号時	EDID1 480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p、1 080/60p、1 080/59.94p、1 080/50p 1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/23.98sF 1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、1 080/23.98p	EDID2*1 表示可能解像度：VGA ~ UXGA (ノンインターレース) ドットクロック周波数：25 MHz ~ 162 MHz
	YPbPr 信号時	[480i] 水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 59.94 Hz [1 035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz [1 080/24p] 水平 27 kHz 垂直 24 Hz [1 080/30p] 水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz [1 080/60p] 水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50p] 水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz	[576i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [576p] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [720/60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1 080/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/25p] 水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz [1 080/24sF] 水平 27 kHz 垂直 48 Hz • HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。
カラー方式		7 方式 (NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-N / PAL-M / SECAM / PAL60)	
投写画面サイズ		70 ~ 600 型*2	
画面アスペクト比		4:3	16:9
投写方式		フロント/リア/天つり/床置き (メニュー設定方式)	
コントラスト比		5 000:1 (「ダイナミックアイリス」の設定が「3」のとき)	
接続 端子	入力モジュール 接続スロット	1 系統	
	RGB1 入力端子	1 系統 BNC×5 [YPbPr 入力時] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω [RGB 入力時] 0.7 V [p-p] 75 Ω G-SYNC 時 1.0 V[p-p] 75 Ω HD/SYNC 1.4 ~ 5 Vp-p 正/負極性自動対応 75 Ω VD 1.4 ~ 5 Vp-p 正/負極性自動対応 75 Ω	

※ 1: EDID2 設定時はインターレース信号に対応していません。

※ 2: ET-D75LE5 装着時は 70 ~ 300 型です。

品番		TH-D10000	TH-DW10000
接続端子	RGB2 入力端子	1 系統 高密度 D-sub 15p (メス) [YPbPr 入力時] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω [RGB 入力時] 0.7 V [p-p] 75 Ω G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 • ただし、HD/SYNC および VD 端子は 3 値 SYNC には対応していません。	
	ビデオ入出力端子	1 系統 BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω (ビデオ出力時はアクティブスルー)	
	S ビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応	
	DVI-D 入力端子	1 系統 DVI1.0 準拠 HDCP 対応 • シングルリンクのみ対応	
	LAN 端子	1 系統 ネットワーク接続用 10Base-T/100 Base-TX PJLink™ 対応	
	シリアル入出力端子	D-sub 9p (メス/オス) RS-232C/RS-422 準拠 パソコン制御用	
	リモート 1 入出力端子	M3 ピンジャック 各 1 系統 ワイヤードリモコン、連結制御用	
	リモート 2 端子	D-sub 9p (メス) 外部制御用	
電源コードの長さ		3 m (本体コード : 2 m、付属変換コード : 1 m)	
キャビネット		樹脂成形品	
外形寸法		横幅 : 578 mm 高さ : 320 mm 奥行 : 643 mm	
質量		32 kg (レンズなし)	
使用環境条件		使用環境温度*3 : 0 °C ~ 45 °C 使用環境湿度 : 10 % ~ 80 % (結露のないこと)	
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 3 形乾電池 2 コ)	
	操作距離	約 30 m (受光部正面)	
	質量	134 g (乾電池含む)	
	外形寸法	横幅 : 51 mm 厚さ : 23 mm 奥行 : 176 mm	
別売品	天つり金具 (高天井用)	: ET-PKD100H	
	天つり金具 (低天井用)	: ET-PKD100S	
	投写レンズ	: ET-D75LE6、ET-D75LE1、ET-D75LE2、ET-D75LE3、ET-D75LE4、 ET-D75LE5、ET-D75LE8	
	DVI-D 入力モジュール	: ET-MD77DV	
	SD-SDI 入力モジュール	: ET-MD77SD1	
	HD/SD-SDI 入力モジュール	: ET-MD77SD3	

※ 3 高地 (1 400 m ~ 2 700 m) で使用する場合、使用環境温度は 0 °C ~ 40 °C になります。

- 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS × 6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This DLP® based Projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

RGB/YPbPr/DVI-D 信号一覧

本機に入力できる RGB/YPbPr/DVI-D 信号は下表の通りです。他にも RGB 信号は $f_H = 15 \text{ kHz} \sim 100 \text{ kHz}$ 、 $f_V = 24 \text{ Hz} \sim 120 \text{ Hz}$ 、ドットクロック = $20 \text{ MHz} \sim 162 \text{ MHz}$ の範囲で入力可能です。

対応信号	表示モード	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 × 480i	15.7	59.9		VIDEO/S-VIDEO
PAL/PAL-N/SECAM	PAL/PAL-N/SECAM	720 × 576i	15.6	50.0		VIDEO/S-VIDEO
480i	480i	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	YPbPr/RGB
576i	576i	720 × 576i	15.6	50.0	13.5	YPbPr/RGB
480p	480p	720 × 483	31.5	59.9	27.0	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
576p	576p	720 × 576	31.3	50.0	27.0	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/60i	1080/60i	1 920 × 1 080i	33.8	60.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/50i	1080/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/24p	1080/24p	1 920 × 1 080	27.0	24.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/24sF	1080/24sF	1 920 × 1 080i	27.0	24.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/25p	1080/25p	1 920 × 1 080	28.1	25.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/30p	1080/30p	1 920 × 1 080	33.8	30.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/50p	1080/50p	1 920 × 1 080	56.3	50.0	148.5	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/60p	1080/60p	1 920 × 1 080	67.5	60.0	148.5	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
720p/60p	720/60p	1 280 × 720	45.0	60.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
720p/50p	720/50p	1 280 × 720	37.5	50.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
VGA400	VGA70	640 × 400	31.5	70.1	25.2	RGB/DVI(EDID2)
	VGA85	640 × 400	37.9	85.1	31.5	RGB/DVI(EDID2)
VGA480	VGA60	640 × 480	31.5	59.9	25.2	RGB/DVI(EDID1&EDID2)
	VGA67	640 × 480	35.0	66.7	30.2	RGB/DVI(EDID2)
	VGA73	640 × 480	37.9	72.8	31.5	RGB/DVI(EDID2)
	VGA75	640 × 480	37.5	75.0	31.5	RGB/DVI(EDID2)
	VGA85	640 × 480	43.3	85.0	36.0	RGB/DVI(EDID2)
SVGA	SVGA56	800 × 600	35.2	56.3	36.0	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA60	800 × 600	37.9	60.3	40.0	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA72	800 × 600	48.1	72.2	50.0	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA75	800 × 600	46.9	75.0	49.5	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA85	800 × 600	53.7	85.1	56.3	RGB/DVI(EDID2)
MAC16	MAC16	832 × 624	49.7	74.6	57.3	RGB/DVI(EDID2)

対応信号	表示モード	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
XGA	XGA50	1 024 × 768	39.6	50.0	51.9	RGB/DVI(EDID2)
	XGA60	1 024 × 768	48.4	60.0	65.0	RGB/DVI(EDID2)
	XGA70	1 024 × 768	56.5	70.1	75.0	RGB/DVI(EDID2)
	XGA75	1 024 × 768	60.0	75.0	78.8	RGB/DVI(EDID2)
	XGA82	1 024 × 768	65.5	81.6	86.0	RGB/DVI(EDID2)
	XGA85	1 024 × 768	68.7	85.0	94.5	RGB/DVI(EDID2)
	XGA87i	1 024 × 768i	35.5	87.0	44.9	RGB
	XGA100	1 024 × 768	80.0	100.0	105.0	RGB/DVI(EDID2)
MXGA	XGA120	1 024 × 768	96.7	120.0	130.0	RGB/DVI(EDID2)
	MXGA71	1 152 × 864	64.0	71.2	94.2	RGB/DVI(EDID2)
	MXGA75	1 152 × 864	67.5	74.9	108.0	RGB/DVI(EDID2)
WXGA	MXGA85	1 152 × 864	76.7	85.0	121.5	RGB/DVI(EDID2)
	WIDE80050	1 280 × 800	41.3	50.0	68.0	RGB/DVI(EDID2)
	WIDE80060	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	RGB/DVI(EDID2)
MAC21	WIDE76860	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	RGB/DVI(EDID2)
	MAC21	1 152 × 870	68.7	75.1	100.0	RGB/DVI(EDID2)
MSXGA	MSXGA60	1 280 × 960	60.0	60.0	108.0	RGB/DVI(EDID2)
SXGA	SXGA50	1 280 × 1 024	52.4	50.0	88.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA60	1 280 × 1 024	64.0	60.0	108.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA66	1 280 × 1 024	72.3	66.3	125.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA72	1 280 × 1 024	78.2	72.0	135.1	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA75	1 280 × 1 024	80.0	75.0	135.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA85	1 280 × 1 024	91.1	85.0	157.5	RGB/DVI(EDID2)
SXGA+	SXGA+60	1 400 × 1 050	65.2	60.0	122.6	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA+72	1 400 × 1 050	78.8	72.0	149.3	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA+75	1 400 × 1 050	82.2	75.0	155.9	RGB/DVI(EDID2)
UXGA	UXGA60	1 600 × 1 200	75.0	60.0	162.0	RGB/DVI(EDID2)

お知らせ

- TH-D10000の表示ドット数は1 400 × 1 050です。上記データで表示ドット数が異なる信号は1 400 × 1 050ドットに変換されて表示します。
- TH-DW10000の表示ドット数は1 920 × 1 080です。上記データで表示ドット数が異なる信号は1 920 × 1 080ドットに変換されて表示します。
- 表示ドット数の後ろの「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつき（ラインフリッカー）が発生します。

P I N P 一 覧 表

サブウィンドウ メインウィンドウ		RGB1		RGB2		VIDEO 入力	S-VIDEO 入力	DVI		AUX				
		RGB 入力	YPbPr 入力	RGB 入力	YPbPr 入力			EDID1	EDID2	ET- MD77SD1	ET- MD77SD3 ^{*1}	ET-MD77DV		
												EDID1 ^{*2}	EDID2	
RGB1	RGB 入力	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	YPbPr 入力	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
RGB2	RGB 入力	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	YPbPr 入力	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
VIDEO 入力		○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
S-VIDEO 入力		○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
DVI	EDID1	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	EDID2 (PC)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
AUX	ET-MD77SD1	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
	ET-MD77SD3 ^{*1}	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
	ET- MD77DV	EDID1 ^{*2}	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×
		EDID2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×

○ : P I N P (ピクチャ イン ピクチャ) 組合わせが可能。

×

※ 1 480i、576i、720/60p、720/50p、1 035/60i、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、
1 080/25p、1 080/24p

※ 2 480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24p、
1 080/60p、1 080/50p

お知らせ

- ノイズリダクションはアナログ RGB 入力、DVI 入力 (EDID1 設定)、AUX 入力 (EDID1 設定) では使用できません。
- TH-DW10000 はメインウィンドウのサイズが 75 % 以上、サブウィンドウのサイズが 50 % 以上のとき、サブウィンドウの画質が劣化します。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし、光源ランプは 6 カ月または 600 時間の早い方。

3. 修理を依頼される時

113 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みの上、え調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

• 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

• 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

• 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

4. ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

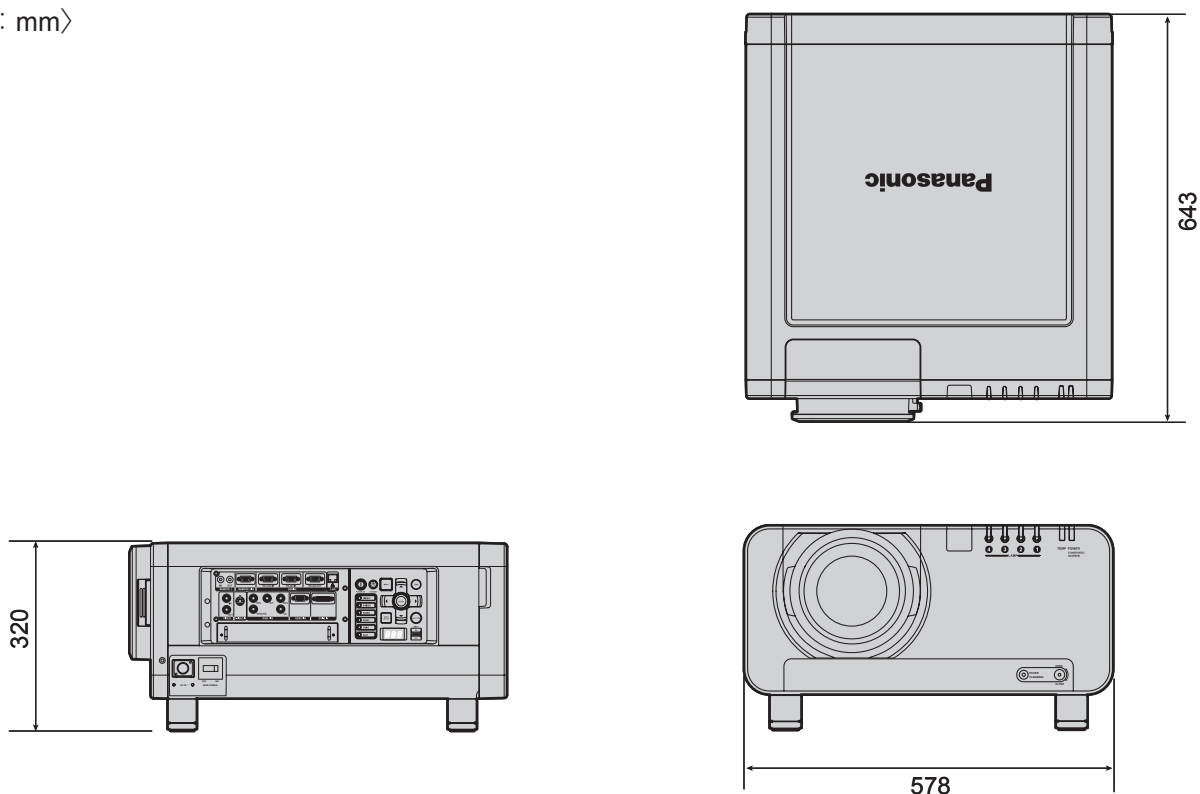
修理を依頼される時にご連絡いただきたい内容

ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。 なお、製品品番については、TH-D10000 (または TH-DW10000) でご連絡ください。
故障または 異常の内容	自己診断機能表示ランプの内容も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

寸法図

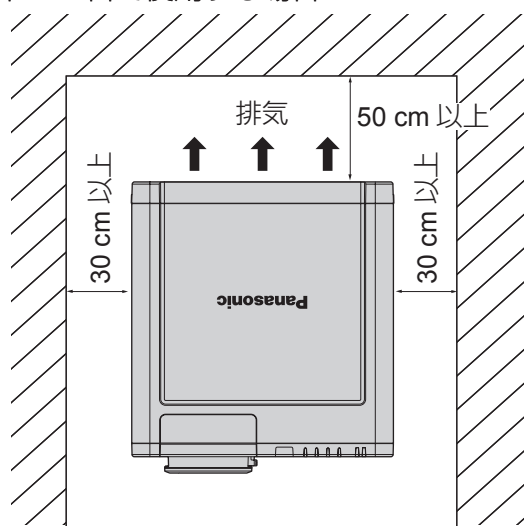
外形寸法図

〈単位：mm〉

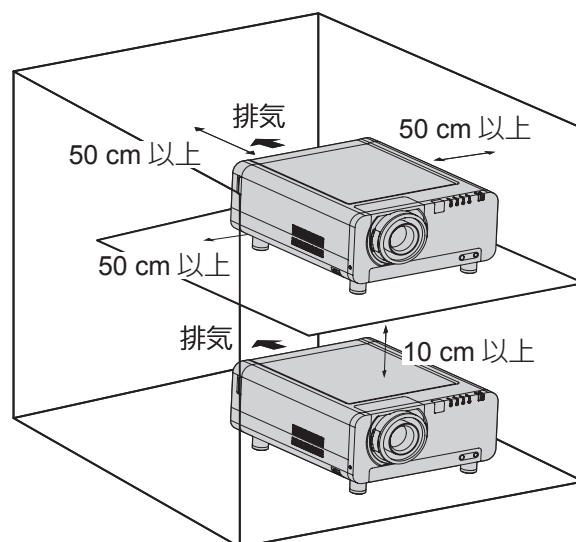


設置寸法図

● 図 1: 1 台で使用する場合



● 図 2: 2 台で使用する場合



お願い

- 後面の排気口をふさがないように 50 cm 以上の隙間をあけて設置してください。
- 本体の後側は空気の滞留が生じないようにしてください。また、排気口から出た熱が吸気口に回り込まないように、側面の隙間を 30 cm 以上あけて設置してください。
- プロジェクターをボックスに入れて使用する場合は、図 2 のスペースを確保し、使用中の温度が 0 °C ~ 35 °C になるようにしてください。

A		く		ね	
AUX DVI EDID.....	73	クランプ位置調整.....	63	ネットワーク機能.....	84-97
D		クロックフェーズ調整.....	59	ネットワーク接続.....	86
DVI-D 入力モジュール.....	33	黒レベル.....	51	の	
DVI EDID.....	72	さ		ノイズリダクション.....	54
F		サブメニュー.....	47-48	は	
FUNC1 の設定.....	74	サブメモリー.....	42-43	パスワード入力.....	82
H		し		パスワードの設定.....	99
HD/SD-SDI 入力モジュール.....	32	自己診断表示.....	114-115	パスワードの変更.....	100
O		システム情報.....	80	パソコンとの接続.....	27
OSD メモリー.....	75	システム方式.....	55	バックカラー.....	72
P		自動調整.....	71	ひ	
P IN P.....	73-74	シフト調整.....	57	ピクチャー.....	51
P IN P 一覧表.....	120	シャッター (SHUTTER) 機能.....	44	日付と時刻設定.....	82
PJLink™ プロトコル.....	98	シャープネス.....	53	表示の設定.....	100
R		修理を依頼される前に.....	113	ふ	
RGB/YPbPr/DVI-D 信号一覧.....	118-119	出力解像度.....	78	ファン制御.....	77
RS-232C.....	80	仕様.....	116-117	付属品.....	10
S		シリアル端子.....	102-105	ブランキング調整.....	62
SD-SDI 入力モジュール.....	31	す		フレーム遅延.....	65
sRGB.....	56	ズーム調整.....	59	プロジェクター ID の設定.....	76
あ		スタートアップロゴ.....	82	ほ	
アスペクト調整.....	58	ステータス機能.....	44	保証とアフターサービス.....	121
い		せ		め	
色あい.....	52	設置角度.....	78	メインメニュー.....	47
色温度設定.....	52	設置寸法図.....	122	メニュー画面の操作方法.....	49
色の濃さ.....	51	設置設定.....	77	も	
え		セット脚の調整.....	20	モニターランプの表示.....	107
エアーフィルター清掃.....	81	た		ら	
エアーフィルターの清掃と交換.....	108-109	大画面色補正.....	70	ラスター位置.....	66
映像機器との接続.....	26	台形補正.....	60	ランプ選択.....	78-79
映像モード設定の既定値登録.....	55	ダイナミックアイリス.....	54	ランプユニットの交換手順.....	111
映像モードの切り換え.....	50	て		ランプリレー.....	79
エッジブレンディング調整.....	63-65	テキストの変更.....	101	り	
お		デジタルシネマリアリティ.....	61	リモート 2 端子.....	106
オートセットアップ (AUTO SETUP) 機能.....	45	テストパターン.....	83	リモコンの ID ナンバー指定.....	18
お手入れ.....	11	電源の切りかた.....	37	リモコンの有効操作範囲.....	17
オンスクリーン位置.....	75	電源表示ランプ.....	35	れ	
オンスクリーン表示機能.....	44	電源変換コードの接続.....	35	レンズ調整.....	38-40
か		電源を入れる.....	36	わ	
外形寸法図.....	122	天つり金具取り付け時の注意事項.....	112	ワイヤードリモコン.....	18
カラーマッチングの調整.....	68-70	と		その他	
ガンマ選択.....	53	投写方式.....	20		
		投写レンズの取り付け/取り外しかた.....	34		
		登録信号.....	41-42		
		に			
		入力解像度調整.....	62		
		入力自動セットアップ.....	71		
		入力モジュールの取り付け.....	28-29		
		入力を切り換える.....	44		



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

お客様は、本ソフトウェア（プロジェクターに内蔵されているマイコン、ROM などに記録された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできませんが、著作権がお客様に移転するものではありません。

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証を致しません。

商標について

- VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
 - S VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
 - Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
 - Netscape 及び Netscape Navigator は Netscape Communications の米国及びその他の国における登録商標です。
 - HDMI、HDMI 口ゴ、High-Definition Multimedia interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
 - Digital Light Processing, DLP、DLP® CHIP は Texas Instruments の登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	TH-D10000 TH-DW10000
	販売店名	☎ () —		

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.